

大型ノンステップバス

(ディーゼル・11mクラス
フリースペース型)

製作仕様書

川崎市交通局
自動車部運輸課

大型ノンステップバス（ディーゼル・11mクラス フリースペース型） 製作仕様書

2015年以降国土交通省ノンステップバス標準仕様適合・移動円滑化基準適合・平成28年排出ガス規則適合・平成27年度燃費基準達成・九都県市指定低公害車・中期ブレーキ安全規制適合・令和4年騒音規制適合

I.	ま	え	が	き	・・・・・・・・	1			
II.	総			則	・・・・・・・・	2			
III.	細			則					
S.	シャシ	・	エンジン	関係	・・・・・・・・	4			
A.	主	要	構	造	・・・・・・・・	5			
B.	扉		関	係	・・・・・・・・	6			
C.	窓		関	係	・・・・・・・・	8			
D.	床		関	係	・・・・・・・・	10			
E.	座	席		関	係	・・・・・・・・	10		
F.	電	装	品		関	係	・・・・・・・・	12	
G.	仕切	構造	及び	握棒	関係	・・・・・・・・	17		
H.	通	風	・	冷	房	関	係	・・・・・・・・	18
J.	車	外	取	付	品	・・・・・・・・	19		
K.	車	内	取	付	品	・・・・・・・・	20		
L.	塗			装	・・・・・・・・	23			
M.	積		込	品	・・・・・・・・	23			

川崎市交通局乗合自動車製作仕様書

- 1 本仕様書は川崎市交通局乗合自動車ワンマンバスとして使用するためのものであって、この仕様書に示す諸装置を備え構造堅牢で性能良好なものとし、かつ道路運送車両法の保安基準に違反しない構造装置とすること。
- 2 この車両に使用する資材及び部品は、特に指示するものを除き日本工業規格及び自動車安全基準合格品を使用すること。

3 適用範囲

- (1) 用途 乗合自動車ワンマンバス
- (2) 車両
 - a リヤエンジン形で排気量、全長、全幅、全高は局の承認を受けること。軽油を燃料とし、アイドリングストップアンドスタート装置付属の車両を基準車とし架装すること。
 - b 組立部品中、特に規格の変更を必要とする場合は、事前に書面を提出して当局の承認を得ること。
 - c 当局指定営業所への出入庫が可能なこと。

4 標準乗降方式及び扉構造

- (1) 前乗（折り戸またはグライドスライド扉） ————— 中降（引き戸扉）
- (2) 前扉、中扉は、それぞれ左フロントオーバーハング部、左ホイールベース間部にあること。

5 仕様書の記入方法

バス車体規格による分類とし、ノンステップバス標準仕様を基本とする。又、特別仕様・特記事項等が記載されているものは、それを優先とすること。

総 則

1	本仕様書は乗合自動車ワンマンバスの製作に適用する。	
2	購入車両、形式及び両数	
	年 式	令和8年及び9年式
	種 別	大型ノンステップバス（ディーゼル）
	型 式	リヤエンジン型 ノンステップバス 11mクラス フリースペース型
	乗 降 方 式	前扉乗車_____ 中扉降車
	購 入 車 両 数	5両
	特 記 事 項	2015年以降国土交通省ノンステップバス標準仕様適合・移動円滑化基準適合・平成28年排出ガス規制適合・平成27年度燃費基準達成・九都県市指定低公害車・中期ブレーキ安全規制適合・令和4年騒音規制適合
3	納入期間 契約締結日から令和9年3月31日まで。なお、納入日は当局と協議し決定する	
4	納入場所 局指定場所	
5	部品供給サービスは、車両が在籍している期間、適正かつ迅速に体制を整備し、サービス網および緊急連絡先の一覧表を提出すること	
6	車両の製作は本仕様書関係規格、添付図面及び関係法規に適合すること なお、不明な点については十分打ち合わせを行い、確認の上書類または図面を取りかわし誤りのないようにすること。また、併せて摘録を作成し速やかに提出すること	
7	車両の製作、材料、部品についての特許その他権利上の事項に注意し、問題が生じたときは、製作者がその責任を負うこと	
8	車両の製作にあたっては、次の点に注意すること	
	(1) 乗客が安全で乗り心地よく、整備作業が容易で確実に出来る構造で作業を妨げるものがないこと	
	(2) 重要保安関係装置（かじ取り、制動、走行、電気配線及び配管系統）は運行保安上特に重要であるので、各部作業についての検査は厳重に実施すること	
	(3) 車体外部から発錆しないように、完全な防錆を施工すること。また、外部塗装についてのダメ塗りは認めない	
9	車両の製作に先立ち次のものについて当局の承認を得ること	
	(1) 図面及び書類（各2部ファイル綴りにして提出すること）	
	a 当局仕様に基づく製作者の仕様書	
	b 車体三面図(1/50)、塗装要領図(1/30)、デザイン図(艤装三面図)(1/30)	
	c 車体配線図(シャシ関係結線図、車体側電気結線図、バスクレーラー結線図、実態配線図)	
	d 車体骨格図(1/40)、天井配置図、運転席囲い図(料金箱取付部含む)、床点検蓋図	
	e 床下配置図、足載せ台図、スイッチボックス配置図	
	f 座席配置図、スロープ板格納図	
	g 諸元表・重量分布計算書	
	h 車台及び機関番号表	
i その他必要な資料		
	(2) 製作者は契約締結後速やかに製作に関する工程表を提出すること。なお、提出後変更を生じたときは、直ちに変更理由を示して再提示すること	
10	車両の検査については、本仕様書、関係規格、添付図面及び関係法規により次のとおり行う	
	(1) 随時検査（工場）	
	請負者は車体製作工場において完成時に当局の検査を受けること	
	請負者は検査願を事前に提出すること	
	本検査において発生した指摘事項は随時検査（販売会社）までに修正を行うこと	
	請負者は指摘事項の内容を随時検査報告書として2部作成し、1部を当局検査員に提出すること	
	(2) 随時検査（販売会社）	
	請負者は納入前に販売会社店頭において当局の検査を受けること	
	請負者は検査願を事前に提出すること	
	本検査において発生した指摘事項は納車時検査までに修正を行うこと	
請負者は指摘事項の内容を随時検査報告書として2部作成し、1部を当局検査員に提出すること		
(3) 収納検査		
請負者は新規検査及び登録完了後、当局指定営業所にて収納検査を受け納車すること		
請負者は納入報告書を納車営業所毎に2部作成し、1部を各納入先営業所整備係責任者に提出すること		

11	<p>納車までにかかる費用（回送、新規検査及び登録等）は請負者の負担とする。ただし、自動車重量税、自動車税環境性能割、リサイクル料金は納入後、請負者からの請求により当局が請負者に対し支払うものとする。自動車事故賠償責任保険については当局が加入し保険証書を支給するものとする</p>
12	<p>車両納入の際、次のとおりの図面と書類を提出すること</p> <p>(1) 車体写真（前面、後面、左右側面、室内前後、中扉付近、運転席付近、ダッシュ計器盤、フロントステップ付近（料金箱未取り付状態可）、優先席付近、天井関係 12枚、カラーキャビネ版提出（前後、左右の写真は局番号が入っていること。室内写真はビニールを剥がしてあること。また、今回の仕様変更部分は必ず含めること。）また、前述のデジタルデータをファイル形式（j p e g形式）または、CD-ROMで提出すること</p> <p>(2) 自動車検査証写し 2部</p> <p>(3) シヤシ、エンジン取扱説明書、部品カタログ（シヤシ、ボデー）及び整備解説書。何れもCD-ROMでの供給可</p> <p>a 納入車庫 × 各1</p> <p>b 本課 × 各1</p> <p>(4) 8項(1)で定める図面(A3)、製作仕様書及び書類の確定版をファイル綴りにして、納入車庫数+1部（本課）を速やかに提出すること</p>
13	<p>納車後の保証は次のとおりとする</p> <p>(1) 納車後不具合が発生した場合は、当局の指示に従い早急に対応すること</p> <p>(2) 保証の期間は、納車日から1年間またはメーカー保証のうち長い期間とする。ただし、設計、製作、材質に責あるときは、別途協議の上、当局裁定に従うこと</p> <p>(3) 納入後、当局の求めにより新車点検を行うこと。また、1か月後及び6か月後には車体内外のビス類の増締めを各営業所において実施すること</p> <p>(4) 当局に当該車両在籍の間、修理、点検、保守等のサービス及び部品供給が迅速に行える体制を整えていること</p>
14	<p>補助金申請手続きの支援</p> <p>受注者は、当局が本事業の実施にあたって行う補助金の申請及び実施報告について、必要な支援を行うこと</p>
15	<p>代金の支払は次のとおりとする</p> <p>(1) 収納検査合格後、該当車両が納車され、それに応じた代金を契約業者の適法な請求を受けた日から30日以内に支払うものとする</p> <p>(2) 契約業者の適法な請求により、請求時点で納車されている車両に係る代金を先行して支払うことができるものとする</p> <p>(3) 請求額については、1台あたりの金額を請求書に明記すること</p>

S シャシ・エンジン関係

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
S100. 車両形式	110	車名	メーカー標準	
	120	型式	メーカー標準	
	130	全寸法		
	131	全長	メーカー標準	11.130m～11.260m程度
	132	全幅	メーカー標準	2.485m～2.490m程度
	133	全高	メーカー標準	3.040m～3.090m程度
	140	オーバーハング		
	141	フロント	メーカー標準	
	142	リヤ	メーカー標準	
	150	ホイールベース	メーカー標準	
S200. 車両重量	210	車両総重量	メーカー標準	車両本体はできる限り軽量化すること
	220	乗車定員		
	221	座席	パターンA：メーカー標準	パターンA（都市型） 立席はできる限り多くとること
			パターンB：メーカー標準	
			パターンC：メーカー標準	
	222	立席	パターンA：メーカー標準	パターンA 立席はできる限り多くとること
パターンB：メーカー標準				
パターンC：メーカー標準				
223	乗務員	メーカー標準		
224	計	メーカー標準	85名以上（新規登録時に条件を満たすこと）	
S300. エンジン	310	シリンダー	メーカー標準	ディーゼルエンジン
	320	冷却系統		
	322	ラジエーター	メーカー標準（なしも含む）	
	323	ファン	メーカー標準	
	330	潤滑系統		
	331	オイルフィルタ	メーカー標準	
	340	ターボチャージャー	メーカー標準（なしも含む）	
	350	エアークリーナー	湿式エレメント（OPT乾式エレメント）	湿式エレメント *不可能な場合は、局と調整、承認を得ること
380	尿素タンク	メーカー標準（なしも含む）		
S400. 車軸関係	410	タイヤ		
	411	銘柄	メーカー標準	パターン：リブラグ
	412	種類	ラジアル	
	413	サイズ	メーカー標準	
	414	パターン	メーカー標準	耐磨耗性重視タイヤ装着のこと
S400. 車軸関係	420	ディスクホイール		
	421	サイズ	メーカー標準	
	430	ステアリング		
	432	パワーステアリング	付	
	460	車高調整装置	降下方式：メーカー標準 ・下げ量：スロープ板角度9度以下になるステップ高さまで降下（ステップ高さ285mm以下） ・降下：復帰時間5秒程度 車高上げ装置：メーカー標準 ・上げ量：30mm以上 ・上げ時間：5秒程度 ・扉連動：なし	(1)降下方式：メーカー標準 ・下げ量：スロープ板角度7度以下になるステップ高さまで降下（ステップ高さ270mm以下） ・降下：復帰時間5秒程度 (2)車高上げ装置：メーカー標準 ・上げ量：30mm以上 ・上げ時間：5秒程度 ・扉連動：付（メーカー標準位置にスイッチ取付） (3)車高調整装置作動中は警告灯が点灯すること (4)車高アップは設定速度以上で警告と伴に強制復帰。また、設定速度以下に落ちた場合は、車高アップ状態に戻ることに *上記各項目で不可能なものがある場合は、局と調整、承認を得ること
S500. 動力伝達装置	510	トランスミッション		
	511	方式	メーカー標準	AT式 中扉開時動力伝達カット機能付
			中扉開時動力伝達カット機能付	解除スイッチを押した場合は、警告音を吹鳴し、警告灯が点灯する *困難な場合は、承認をうけること
	512	変速比	メーカー標準	
	520	終減速機		
521	方式	メーカー標準		
S600. ブレーキ	522	減速比	メーカー標準	
	530	クラッチ	メーカー標準	
	610	排気ブレーキ	付(メーカー標準)	
	620	ABSブレーキ	メーカー標準(なしも含む)	付
	630	リターダ		
	631	方式	メーカー標準(なしも含む)	
	632	銘柄、型式	メーカー標準(なしも含む)	
	640	駐車ブレーキ		
	641	方式	ホイールパーク式	
	642	銘柄、型式	メーカー標準	
643	取付位置	メーカー標準	(1)チェンジレバー右側ダッシュ部 操作し易い位置とする (2)足と干渉しないこと	
660	坂道発進補助装置	メーカー標準(なしも含む)		
694	EDSS	メーカー標準		
S700. 電装品	710	オルタネーター		
	711	銘柄	メーカー標準(なしも含む)	
	712	型式	メーカー標準	ブラシレス型
	713	電圧	24V	
	714	容量	メーカー標準	180A以上
	715	レギュレータ	メーカー標準(なしも含む)	
	720	バッテリー		
	721	銘柄	メーカー標準	
	722	型式	メーカー標準(ISS装置付の車両はサブバッテリー付き)	(1)ISS装置付の車両は210AH以上 (2)バッテリー側面は点検容易な白色ケースとする
	723	電圧	24V	
	724	容量	メーカー標準	
	730	メータ		
	732	タコグラフ	メーカー標準(なしも含む)	無し
	734	タコメータ	メーカー標準	付
739	バッテリー電圧計	メーカー標準	付	
740	ホーン	メーカー標準	付	
751	ASV（安全技術）装置	メーカー標準	運転手用押ボタン位置 乗客用押ボタン位置 自動検知EDSS ドライブモニター 運転席バイブレーターアラート *上記各項目で不可能なものがある場合は、局と調整、承認を得ること	

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
S800. その他	低公害装置	メーカー標準	(1)国土交通省認定の最新排出ガス規制に適合していること (2)重量車燃費基準達成車であること (3)九都県市指定低公害車の指定を受けていること
	810 燃料タンク		
	811 容量	メーカー標準	155ℓ以上
	812 取付位置	メーカー標準	その他の場合は図面を提出し局の承認を得ること
	813 その他	フィルターキャップ：キーなし、つまみなし	フィルターキャップ：キーなし、つまみ付
	820 配管		
	821 ブレーキ配管	メーカー標準	
	822 燃料配管	メーカー標準	
	823 集中給油装置配管	メーカー標準(なしも含む)	
	830 集中給油装置		
	831 銘柄	メーカー標準(なしも含む)	付
	832 型式	メーカー標準(なしも含む)	
	833 駆動方式	メーカー標準(なしも含む)	
	860 アイドリングストップ装置		
	861 構造	メーカー標準(なしも含む)	付、メーカー標準位置に解除スイッチ(誤操作防止カバー付)取付
	870 エアードライヤー		
	871 エアードライヤー	メーカー標準	付
A 主要構造			
A100. 構造	110 構造	メーカー標準	
	120 出入口位置	前扉：左フロントオーバーハング 中扉：左ホイールベース間	
	130 非常口位置	メーカー標準(車両右側)	
A300. 外板	310 雨樋	メーカー標準	
	320 雨樋	メーカー標準 前扉部：あふれ防止材付 左#1柱部～#2柱後端まで 雨樋の高さ：メーカー標準 左#1柱部に前方飛散防止機能付	前方上部：左右肩R部間、高さ20mm ・スポット溶接で取付を行う場合は、防錆処理を施すこと ・あふれ防止材取付部はシーリングを行うこと 図①参照
	330 フェンダー	メーカー標準	防蝕を十分にすること
	340 エアダクト	点検蓋：メーカー標準	
A400. 内板	410 天井	材質：メーカー標準 ・塩ビ鋼板の場合：BSP-2(クリーム色、艶あり) ・その他の材質の場合：塗装色のBS-2(クリーム色、艶あり)に順ずる	朱色又は黄赤に対して明度差2以上 材質：メーカー標準 ・塩ビ鋼板の場合：BSP-4(淡グレー色) ・その他の材質の場合：塗装色(淡グレー色)に準ずる
	420 窓柱かぶせ	色、材質共：メーカー標準	朱色又は黄赤に対して明度差2以上 色/材質共メーカー標準
	430 腰板	材質：メーカー標準 ・塩ビ鋼板の場合：BSP-2(クリーム色、艶あり)又はBSP-4(淡グレー色、艶あり) ・その他の材質の場合：塗装色のBS-2(淡グレー色、艶あり)又はBS-4(淡グレー色、艶あり)	朱色又は黄赤に対して明度差2以上 材質：メーカー標準 ・塩ビ鋼板の場合：BSP-4(淡グレー色)又はBSP-3(濃グレー色) ・その他の材質の場合：塗装色のBS-4(淡グレー色)又はBS-3(濃グレー色)に準ずる ・グリップ等は緩まないものを使用すること
	440 計器板	メーカー標準	
	450 計器板下部	メーカー標準	
	460 カーテンカバー	なし	
480 窓下縁材	メーカー標準		
A500. ステップ	520 高さ		
	521 前扉口	ニーリング時地上高285mm以下 (縁材含む) ステップの傾斜は極力少なくする	(1)ニーリング時地上高270mm以下 (縁材含む) (2)ステップの傾斜は極力少なくする
	522 中扉口	ニーリング時地上高285mm以下 (縁材含む) ステップの傾斜は極力少なくする	(1)ニーリング時地上高270mm以下 (縁材含む) (2)ステップの傾斜は極力少なくする
	540 縁材		
	541 前扉口	両端カット カット量はメーカー標準 色：黄色	・ステップ部の水を排出できる加工をすること
	542 中扉口	両端カット カット量はメーカー標準 色：黄色	
	543 中扉後客席通路段差部		・段差左部の二人掛けステップ部に滑り止め縁材かつ両端カット
	544 右最前席		・ステップ部の縁材に滑り止めを施すこと
	560 水抜穴		
	561 ステップ水抜穴	なし	
562 引戸レール水抜穴	メーカー標準		
590 車いすスロープ板	・スロープ板取付角度9度以下 (150mmバスベイ及びニーリング時) ・スロープ板幅800mm以上 ・表面は滑りにくい仕上げ ・反転式又は脱着式で容易に取出せる位置に格納	メーカー標準 携帯式スロープ板はM-659項参照のこと (1)車いす降車合図ボタンリセット機能付 (2)中扉誤閉防止機能 (3)脱着防止対策を設けること (4)反転式スロープ板が標準の場合、携帯式スロープ板も搭載とする (5)収納箱を中扉優先席側仕切り部に縦置きに設置、出し入れが容易なこと *不可能な場合は、局と調整、承認を得ること	
A600. 断熱	610 天井		
	611 断熱材	メーカー標準	
	620 側壁		
	621 断熱材	メーカー標準	
	630 エンジンルーム隔壁		
	631 断熱材	メーカー標準	整備性と断熱に留意すること
632 構造	BA002またはこれと同等の性能をもつ構造とする		

B 扉関係

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
B100. 出入口扉	110	前扉		
	111	構造	メーカー標準 グライドスライド扉または折戸	
	112	有効開度	メーカー標準	
	113	軸受	メーカー標準	給脂が必要な軸受けを使用時は、給脂が容易に行える構造とする
	114	補助ローラ	なし	
	115	ガイドローラ	メーカー標準	
	116	手掛	メーカー標準 扉内側：昇降用握棒付	扉内側：昇降用握棒付(メカ標準品、手掛兼用、朱色又は黄赤色) 扉外側：メーカー標準品取付 扉内外とも図面を提出し局の承認を得ること
	117	扉ゴム	メーカー標準(成形ゴム)	戸先スイッチが落下しないこと
	118	扉下部防塵	防塵ゴム取付	
	119	その他		(1)戸先スイッチ取付 (2)シャフトカバー取付
	120	中扉引戸		
	121	構造	引扉	(1)上固定窓付引扉 (2)扉各部とも指詰防止対策をとること
	122	有効開度	メーカー標準	1,000mm以上
	123	扉ゴム	メーカー標準	
	124	レール	メーカー標準	
	125	戸車	メーカー標準	
	126	ガイドローラ	メーカー標準	車内ガイドローラーが戸袋外に出るときは、指詰防止対策をとること
	127	引戸振れ止め	メーカー標準 戸当り側に1組取付	
	150	扉窓		
	151	ガラス	強化熱線吸収グリーンガラス 板厚はメーカー標準	強化グリーン系着色ガラス グリーン#2(レガート50)または、同等品取付け
152	窓ゴム	メーカー標準		
160	立席制限鎖			
161	種類	鎖チェーン：黄色	朱色又は黄赤色 G-710項参照のこと	
162	取付位置	床面から700mm		
B200. 引戸用戸袋	210	戸袋		
	211	構造	外側固定窓 内側内開扉に固定窓付	扉はローレットで固定(緩み、脱落防止付) (スプリングワッシャー等で緩み防止措置を行うこと)
	212	水抜き	メーカー標準	
	213	ストッパーゴム	メーカー標準	
	220	安全装置		
	221	指詰防止装置	戸袋開口部内側柱に切欠ゴム取付	指詰防止カバー取付(ガイドローラー部分割式) *図面を提出し局の承認を得ること
	222	引戸安全装置	メーカー標準	
	230	戸袋窓		
	231	ガラス	外側・内側共 強化熱線吸収グリーンガラス 板厚はメーカー標準	強化グリーン系着色ガラス グリーン#2(レガート50)または、同等品取付け
	232	窓ゴム	メーカー標準	
B300. 扉自動開閉装置	310	戸閉機		
	311	方式	エアー電磁弁式	戸閉スイッチ付
	312	銘柄、型式	メーカー標準 (1)前扉グライドスライド扉用 (2)中扉引き戸扉用	
	313	取付位置	メーカー標準	
	314	カバー	点検カバー付	
	320	扉操作スイッチ		
	321	種類	タンプラススイッチ、銘板付 扉「開」時ON	泰平 C-812 LED式パイロットランプ付同等品 スイッチ保護回路付
	322	電流容量	DC24V、5A	
	323	取付位置	運転席右スイッチボックス上面に、各扉用 を各1個取付、銘板付	前扉用：窓側 中扉用：D席側
	330	時限継電器		
	331	銘柄、型式	なし(バス統合制御システムに含む)	
	332	取付位置	メーカー標準	(1)運転席右側上、配電ボックス内へ取付 (2)結線はコネクタ使用のこと
B300. 扉自動開閉装置	340	間接確認装置		
	341	方式	中降：車内2光束、光電管取付	中降：車内2光束、車外1光束、光電管取付
	342	銘柄、型式	メーカー標準	光電管赤外線式 泰平 DPX-93B-3B同等品
	343	取付位置	(中降：車内2光束式) 車内下部取付高さ：中扉ステップ 最下端より50mm 車内上部取付高さ：中扉ステップ 最下段より400mm 車内光電管奥行き：中扉中心 より120mm	図③参照
	344	解除スイッチ	なし	取付(ガード付、運転席右スイッチボックス内)
	346	数量		車内用2個、車外用1個

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
B300. 扉自動開閉装置	350	扉閉スイッチ		
	351	種類	マイクロスイッチ 扉「開」時ON	
	352	電気容量	DC24V、5A	
	353	取付位置	扉閉機に取付	
	360	予告ブザー		
	361	種類	無接点ブザー、十分な音量があること	音声方式+チャイム+ランプ点灯
	362	銘柄、型式	メーカー標準	ゴールドキング株製 OGBA-64K同等品
	363	取付位置	中扉付近に取付	中扉前柱上部に取付
	370	扉非常解放コック		
	371	種類	三方コック、前中扉用各1個 車内側赤色、車外側黒色	運転席に元コック取付 手前(上)側赤色
	372	方式	車内外操作式 操作表示銘板付	
	373	取付位置	前扉用：計器板左 中扉用：戸当側	元コック：運転席右側で客席から手の届かない位置に取付 蓋指掛け部ケガ防止のためモール等で保護すること
	374	銘柄、型式	メーカー標準	運転席：泰平 T-41D同等品
	380	機能		
	381	前扉	前扉スイッチ操作により開閉	
	382	中扉	(1)中扉スイッチの操作により0.5~0.8秒 予告ブザーにより予告後開閉する。 (2)扉が閉まりつつある時は開扉動作はス イッチの操作に即応する。 (3)扉が開くと戸閉スイッチがONとなり、 アクセルインターロックが動作し、戸開知 らせ灯が点灯する。 (4)戸閉スイッチは戸先と戸当りの間隔が 10mm以内で動作し、OFFとなるよう調整す ることを標準とする。 (5)扉が開いているときに、乗客が間接確 認装置の光軸を遮れば扉スイッチを閉めに しても扉は閉まらず、乗客知らせ灯が点灯 する。 (6)戸先と戸当りの間隔が10mm以上のとき は、光軸等の安全装置が作動中の場合には 直ちに開く。 (7)扉が閉まりきったあとは、走行中に扉 が開かないように二重安全機能とする。	(1)車内側間接確認装置の光軸を遮っている場合には、扉スイッチ を開にしても扉は開かず乗客知らせ灯が点灯しブザーが鳴る (2)スロープ板格納蓋が開いているときには、戸閉スイッチを操作 しても扉が閉まらないこと 又、このときには、乗客知らせブザー の鳴きをカットすること (3)戸先と戸当りの間隔が10mm以上のときは、光軸等の安全装置が 作動中の場合には直ちに開く (4)乗客知らせブザーの取付け位置は局の承認を得ること ブザー：日工78型（低音用）
	390	戸先スイッチ		
	391	銘柄、型式	中扉部：メーカー標準、前扉部：なし	前扉部：泰平 DFS-4A（リレーなし、反転機能付）同等品
	392	機能	なし	(1)扉「閉」操作時、スイッチに圧力を感じた場合にブザーが鳴 り、反転して開く (2)ガード付き解除スイッチを運転席右スイッチボックス内取付
	393	取付位置	中扉部：メーカー標準、前扉部：なし	前扉戸先
B500. 開扉発車防止装置	510	アクセルインターロック		
	511	方式	メーカー標準	メーカー標準
	512	銘柄、型式	メーカー標準	パイロットランプ付（緑） *不可能な場合は、図面等を提出し局の承認を得ること
	513	取付位置	運転席部へ取付	
	514	機能	中扉開時に作動する（OPT）前扉用	
	515	解除スイッチ	なし	
	520	動力伝達カット		
	521	方式	メーカー標準	メーカー標準
B600. 非常扉	610	構造		
	611	仕様	メーカー標準	ハンドル閉の静止状態及び作動方向への矢印付（白地、赤色）
	612	内板	メーカー標準	
	620	開閉機構		
	621	開閉機構	メーカー標準 開き位置保持装置付	
	622	レバー	メーカー標準	
	630	窓		
	631	構造	メーカー標準	
	632	ガラス	強化熱線吸収グリーンガラス	強化グリーン系着色ガラス グリーン#2（レガート50）または、同等品取付け
	633	窓ゴム	メーカー標準	
	640	警報ベル用スイッチ		
	641	ハンドルレバー用スイッチ	メーカー標準	
	642	ストップ用スイッチ	メーカー標準	
650	引手金具	メーカー標準		
B700. 点検扉 (走行装置用)	710	扉ロック装置	メーカー標準	ロックはダイヤル式とする
	720	エンジンルーム扉	メーカー標準	(1)横開きの場合、あおり防止付 (2)開き位置保持装置付 (3)断熱材取付け
	730	注油口蓋		
731	メインタンク注油口蓋	(1)横開き (2)車体側面裏蓋に「軽油」表示 (3)蓋開口部当たりゴム	(1)SUS製防傷枠を下側に取付 (2)車体側面裏蓋に「軽油」及び白文字の局番号記入 (3)膨潤しない材質であること、または保護材を取り付けること	

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
B700. 点検扉 (走行装置用)	740	注水口蓋	
	741	メインエンジン注水口蓋	(1)横開き (2)メインエンジン用 裏面に「LLC」又は「ロングライフクーラント」表示 裏面に「水」表示
	743	尿素水注水口蓋	横開き尿素水用(なしも含む) 表面に「アドブルー」または、「尿素水」表示
	750	バッテリー格納庫蓋	メーカー標準 (1)点検給水が容易なもの (2)開き位置保持装置付蓋は防錆処理を 施すこと 裏面の水抜き対策を施し、バッテリー庫内に水が溜まらないように すること
	760	集中給油装置点検	メーカー標準(なしも含む)
	770	扉非常解放コック 蓋	メーカー標準 室内側には、赤枠の中に 「非常コック」赤文字記入 (1)前扉用非常コック蓋内部にメインスイッチを増設する (2)スイッチは車外から操作容易なこと (3)室内外に直径8mmの赤丸表示(塗装又はステッカー)
B800. 点検扉	810	暖房装置点検扉	なし
	820	冷房装置点検扉	なし
	830	引戸レール点検蓋	
	831	上部レール点検蓋	メーカー標準 開き位置保持装置付、溝付ローレット使用
	832	下部レール点検蓋	メーカー標準 プッシュロック式、開き位置保持装置付

C 窓関係

C100. 窓	110	前面窓	
	111	構造	メーカー標準
	112	ガラス	メーカー標準 合わせ熱線吸収グリーンガラス
	113	窓ゴム	メーカー標準
	120	後面窓	
	121	構造	メーカー標準
	122	ガラス	メーカー標準 合わせ熱線吸収グリーンガラス 強化グリーン系着色ガラス グリーン#2(レガート50)または、同等品取付け
	123	窓ゴム	メーカー標準
	130	側面窓	
	131	構造	運転席右側：引違窓 上部引違いサッシュレス窓、下部固定窓 右WB間3スパン及び特殊部：固定窓 メーカー標準
	132	窓枠	メーカー標準 (窓枠色：黒色又はシルバー色) 窓枠色：黒色又は黒類似色
	133	ガラス	メーカー標準 強化熱線吸収グリーンガラス (OPT)強化グリーン系着色ガラス 強化グリーン系着色ガラス グリーン#2(レガート50)または、同等品取付け
	134	窓ゴム	メーカー標準
	135	サッシュロック	メーカー標準
	136	窓枠ピラーカバー	メーカー標準 内側に異音防止用の緩衝材施工及び、クリップ等は緩まないものを使用すること
	137	側窓バイザー	オプション品 Jバス純正部品又は同等品を1窓につき前後2枚取り付け 取付面より雨水の侵入がない事 *上記項目で不可能なものがある場合は、局と調整、承認を得ること
	140	運転席窓	
	141	構造	引違窓
	142	ガラス	メーカー標準 強化熱線吸収グリーンガラス UVカットガラス
143	窓ゴム	メーカー標準	
C200. 行先表示器窓	210	前面行先表示器窓	
	211	構造	車体前面上部にBC102-A 系統幕と分割した方式を採用している場合は窓をフィルムで仕切る 左「車いす表示」 右「ベビーカー表示」
	212	ガラス	メーカー標準
	213	窓ゴム	メーカー標準
	220	側面行先表示器窓	
	221	構造	「前乗」前扉後側面上部 BC-104-B 側面窓ガラス兼用 左#4柱#5柱間に取付のこと
	222	ガラス	メーカー標準 強化熱線吸収グリーンガラス 強化グリーン系着色ガラス グリーン#2(レガート50)または、同等品取付け
	223	窓ゴム	メーカー標準
	230	後面行先表示器窓	
	231	構造	車体後面上部BC-001
232	ガラス	後面窓ガラス兼用 強化グリーン系着色ガラス グリーン#2(レガート50)または、同等品取付け	
233	窓ゴム	なし	

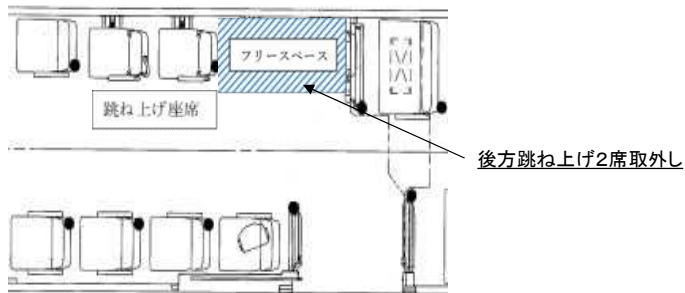
区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
C300. LED式行先表示器	310	銘柄	ユーザー支給品取付 前面、左側面、後面に行先、経路、系統などを表示 (販売会社手配) (1) 白単色LED行先表示器、かつ、側面表示器は発注者の指示寸法とすること (2) 表示器ごとに本体裏面に数字が表示され、透過性樹脂板などに表面が保護されており、操作番号が運転席から目視により容易に確認ができること (3) 表示データは記憶メディアを用いて車両に直接注入が可能なこと *取付に必要な配線等も手配すること ※JABIA規格対応品	
	320	前面行先表示器用		
	321	型式	BF105 (有効窓寸法300×1400)	デジタル式行先表示器 (販売会社手配) 有効窓寸法300 x 1400
	322	幕幅	1450mm	なし
	330	側面行先表示器用		
	331	型式 (前乗)	BF106 (有効窓寸法400×700)	デジタル式行先表示器 (販売会社手配) フルドット (表示ドット:縦96X横160 以上) 左#4柱#5柱間に取付のこと 有効窓寸法400 x 700
	332	幕幅 (前乗)	710mm	なし
	340	後面行先表示器用		
	341	型式	BF107 (有効窓寸法200×900)	デジタル式行先表示器 (販売会社手配) 有効窓寸法200 x 900
	342	幕幅	920mm	なし
	350	操作スイッチ		
	351	操作盤	ユーザー指定品取付	(1) LED行先表示器に連動すること (販売会社手配) (2) 表示データは記憶メディアを用いて車両に直接注入が可能なこと (3) 車内運行情報管理システム (支給品) と連動し、コントロールパネルの設定においてもすべての表示器と連動する三連動式である (4) 取付位置は運転席右上とする (5) それぞれの配置図面を提出し、局の承認を得ること ※JABIA規格対応品
	360	制御装置		
361	機能	メーカー標準 (三連動方式) (1) スイッチONで回転スイッチOFFにより自動的に字幕の中心で停止すること 1個の操作盤で前・側・後面の各行先表示器を連動操作する、三連動式とする	音声合成放送装置連動式 (1) 自動調光機能 (2) 防眩機能 (3) 緊急表示機能 (別途緊急スイッチの設置) ・四角型スイッチであり、ボタンを押した際に緑色発光する機能を有すること ・誤操作防止のため堅牢なカバーが取付けてあり、カバー破損の際はカバーのみ交換が可能なこと	
C400. 方向幕		ユーザー支給品取付	なし	
C500. 行先表示器裏蓋	510	前面行先表示器用		
	511	構造	メーカー標準、2分割 左:下ヒンジ、右:上ヒンジ ロック方式はローレットボルト式 紺色透過式樹脂板視窓付 詳細は添付図による	(1) 左右分割式、右側パッチン錠 (2) ローレットボルトは脱着防止機能付 (3) 開き位置保持装置付 (4) 左右の開き向きを統一すること (5) 系統番号確認窓については支給品により別途指示 *図面を提出し局の承認を得ること
	520	側面行先表示器用		
	521	構造	メーカー標準:上ヒンジ式 ロック方式はメーカー標準 紺色透過式樹脂板視窓付	(1) 開き位置保持装置付 (2) 系統番号確認窓については支給品により別途指示 *図面を提出し局の承認を得ること
	530	後面行先表示器用		
531	構造	メーカー標準:上ヒンジ式 ロック方式はメーカー標準 紺色透過式樹脂板視窓付	(1) 開き位置保持装置付 (2) 系統番号確認窓については支給品により別途指示 *図面を提出し局の承認を得ること	

D 床関係

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
D100. 床構造	110 客室床構造	メーカー標準	(1) 中扉後客席通路段差式 (2) 段差高さは図面を提出し局の承認を得ること (3) 段差部にはA543項による縁材のほか、F360項で指示する灯火を各段に取付
	120 運転席床段揚げ	付	乗降容易なステップ付
	130 後部床段揚げ	通路段差は1段あたり200mm以下	(1) 通路段差は1段あたり200mm以下 (2) スロープを併用する場合はスロープ角度5°以下とし、スロープと段差の間に300mm程度の水平部分を設ける *不可能な場合は、図面を提出し局の承認をえること
	140 通路	低床部の通路には段差やスロープを設けない 車椅子が移動する部分の通路幅は800mm以上 低床部の通路幅は800mm以上	(1) 低床部の通路には段差やスロープを設けないこと (2) 車椅子の移動する部分の通路幅は800mm以上 (3) 低床部の通路幅は800mm以上 (4) 低床部以外のスロープ角度は5°以下
D200. 床張	210 床板	仕上げ15mm以上厚 耐水合板：BD001-B、上張付	
	220 床上張		
	221 通路部	メーカー標準 滑りにくい材質又は仕上げ	滑りにくい材質又は仕上げ 色：朱色又は黄赤色に対し明度差2以上
	222 シート下部	メーカー標準	色：朱色又は黄赤色に対し明度差2以上
	223 フェンダー部	メーカー標準	色：朱色又は黄赤色に対し明度差2以上
	224 トーボード部	メーカー標準 脱着可能なマット取付	
	225 床段差部	メーカー標準 滑りにくい材質又は仕上げ	滑りにくい材質又は仕上げ 色：朱色又は黄赤色に対し明度差2以上
	226 出入口上張	メーカー標準(黄色) 滑りにくい材質又は仕上げ 前：扉開時作動範囲 中：ステップ端部から300mm	ロンシールロンマット NS-10(黄色)同等品 前扉軌跡部内側 日本シールロンマットN1 NSB-504R同等品 前扉部は軌跡部で、中扉部はステップ端部から540mmで張分けること 「足×」マーク 市岡KWS-0300R同等品を前・中部上張に張付
	230 床面押え板	通路端部は黄色とする	(1) 通路端部は黄色とする (2) 極力使用を避け、必要な場合はSUS製とすること
	240 床舟底張	付	
250 水抜き金具	なし		
270 その他		(1) 床上張の熔着は特に念入りに行い亀裂、剥がれ等の発生がないこと (2) 床上張材のビス等の貫通部、及び角部等のシール量は水、埃が入らぬよう十分に施工すること。なお、押さえ材は強力ステンレス製とすること (3) 特にフェンダー角部は引っ張りによる亀裂の発生がないこと 図④参照	
D300. 揚蓋	310 取付位置	メーカー標準	デフ用揚蓋なし
	320 本体	メーカー標準 木製床上張付：トランスミッション部(引手金具付)、木製：エンジン部(引手金具付)、縞板：尿素水タンク部	床上張同一品を張ること(※エンジン部も含む)
	330 縁金	メーカー標準	
	340 ロック装置	メーカー標準	
	350 引手金具	メーカー標準(なしも含む)	付(浮きなどにより躓きの原因とならない構造であること)
D400. 足乗台	411 構造	メーカー標準(ボックス式)	滑り止め処理を行うこと(段差部はえん材型で取付けること)
D500. フェンダー	510 前輪		
	511 構造	メーカー標準	足が乗る部分に滑り止め処理を行うこと

E 座席関係

E100. 配列	110 形式	メーカー標準 優先席：左第1、2、3席(3席)	(1) メーカー標準(配列：都市型) (2) 優先席：前向3席以上(左第1、2、3席)とすること *優先席は床面(通路)と段差(足置台等)がないこと (3) 折りたたみ座席：手動前向き、足踏式レバー、背・肩グリップ付 (4) 折りたたみ座席は走行中等にがたつきがないこと (5) 折りたたみ座席取付部床面に床材変形防止の大型プレートを追加すること *大きさについては、局の認証を得ること
	120 座席数	メーカー標準	座席配置図を提出し局の承認を得ること
	130 配置	メーカー標準	座席配置図を提出し局の承認を得ること
	131 配置		フリースペースあり



区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
E200. 上張	210	材質		
	211	モケット	メーカー標準 局支給品：優先席背凭れは、ピクトグラム柄としその他は全てつぶ柄で統一 JABIA 15年度標準仕様適合シート表皮材登録品	
E300. 客席	310	銘柄、型式	メーカー標準(特殊部を除く) 背当座面分離型 型式等は局の承認を得ること	
	320	寸法		
	321	クッション幅	1人掛460mm 2人掛810mm (車いす固定部の跳上げシート除く)	
	322	クッション高さ	(1)床面からクッション上面まで約380mm～430mm (2)足乗せ台部は240mm以上 (3)優先席は、クッション上面までを400mm程度とする(特殊部を除く)	優先席はクッション上面まで400～430mmとする
	323	全高	メーカー標準	約850mm
	330	シートパット		
	331	シートクッション	ウレタンフォーム	70～110mm厚程度(標準仕上寸法)
	332	シートバック	ウレタンフォーム	
	340	背当板	メーカー標準、腰板と同色	腰板同色
	350	アームレスト		
	351	形状、材質	メーカー標準、乗降の容易さを配慮して極力突起物のないものとする	形状は肘が掛かる「D」型とし、経年変化のない樹脂性とする
	352	取付座席	前向席は全て通路又は、必要な箇所は両側に取付	(1)折りたたみ座席も、腰板との隙間が大きい場合には両側取付
	360	アシストグリップ		
	361	形状、材質	メーカー標準	
	362	肩部	メーカー標準	折りたたみ座席にも取付 優先席3席は黄色の物を取付
	363	背当部	メーカー標準	1席1個 折りたたみ座席にも取付
370	脚	鋼管製、色はダークグレー色 (バス車体塗装色BUS-7001)		
380	特殊装置	非常扉部の座席は、非常時の脱出の妨げにならない構造であること	座席の固定方法は、急ブレーキなどによる乗客の荷重により外れることのない堅牢な構造であること	
E400. 最後部席	410	寸法		
	411	クッション幅	メーカー標準(クッション幅2280mm)	シート両端に隙間がないこと
	412	クッション高さ	メーカー標準 床面より座面まで450mm以下	
E400. 最後部席	420	シートパット		
	421	シートクッション	ウレタンフォーム	
	422	シートバック	ウレタンフォーム	
E600. 運転席	610	銘柄、型式	メーカー標準	型式は局の承認を得ること
	620	調整機構	メーカー標準 前後上下調節式(各社共通仕様) ヘッドレストなし(OPT)ヘッドレスト付	(1)前後上下無段階 (2)リクライニング調整付 (3)ランバーサポート付 (4)ヘッドレスト付 (5)前後移動量は最大限確保すること (6)取付け高さは最大限低くすること
	630	シートパット		
	631	シートクッション	ウレタンフォーム	
	640	ヘッドレスト	なし	付
	910	サイドクッション	なし	
E900. 座席取付品	920	シートカバー	なし	
	970	シートベルト		
	971	銘柄、型式	メーカー標準、3点式ELR	2点式ELR シートベルト警報装置(警告灯及び警告音)付きのこと
	972	取付位置	運転席	
	980	その他		
	984	運転席肘掛		なし
	999	跳上席	なし	右スプリング部にスプリングカバー取付 *座席から腰板間(支給生地(一般席シート)による保護カバー作製取付)

F 電装品関係

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
F100. 前側面車外灯	110	前照灯		
	111	灯具、電球	メーカー標準 ディスチャージ式またはLED式	
	120	雾灯		
	121	灯具、電球	メーカー標準	
	122	取付位置	メーカー標準	
	130	前側面方向指示灯 (非常点滅灯兼用)		
	131	灯具、電球	メーカー標準 BF023を基本とする (コーナーリングランプ球はLEDに変更) 保安基準適合品がある場合	
	132	取付位置	前面左右に各1個取付	
	140	側面方向指示灯		
	141	灯具、電球	メーカー標準、BF006	
	142	取付位置	側面左右に各1個取付	
	160	標識灯		
	161	灯具、電球	なし	
	170	車外照射灯		
	171	前扉上部	メーカー標準 (OPT) 前乗り なし	
	172	中扉上部	メーカー標準 (OPT) 前乗り レシップ ST-A321B (LED式、20W相当)	付、ゴールドキングSFL-30M-7S同等品を中扉上部鴨居に取付け
	173	機能	出入口扉開と同時に点灯 閉戸後4~10秒後で消灯	出入口扉開と同時に点灯、閉後4~10秒後に消灯 電源は前照灯スイッチ (1段目・スモール) と連動とすること
	180	路肩灯		
181	灯具、電球	メーカー標準、BF003-A	前照灯スイッチ (1段目・スモール) と連動とすること	
182	取付位置	後輪前方左右外板に各1個取付	オージ LL-11C1同等品	
F200. 後面車外灯	210	尾灯		
	211	灯具、電球	メーカー標準、BF002-B LED式、ゴールドキング TSL-2Y	ゴールドキング TSL-1R・Y2連式 *その他の場合、局の承認を得ること
	212	取付位置	メーカー標準	
	220	制動灯		
	221	灯具、電球	メーカー標準 LED式、ゴールドキング TSL-2Y	ゴールドキングTSL-1R・Y2連式*その他の場合、局の承認を得ること *後退灯兼用の場合にはTSL-1M3B (白色下) *取付不可能な場合、図面提出のうえ局の承認を得ること
	222	取付位置	メーカー標準	
	250	乗降中表示灯		
	251	種類	なし (OPT) 付…SOS表示付	付、LED式SOS表示なし、車椅子表示対応
	252	銘柄、型式	メーカー標準	オージ JS-427同等品 F951項参照
	253	取付位置	メーカー標準	後面左側
	260	番号灯		
	261	灯具、電球	メーカー標準	
	262	取付位置	メーカー標準	
	270	後退灯		
	271	灯具、電球	メーカー標準	
	272	取付位置	メーカー標準 後面左右に各1個取付	
	273	機能	変速機を後退にした時点灯	
	280	標識灯		
281	灯具、電球	なし		
290	エンジンルーム灯			
291	灯具、電球	メーカー標準	(1) スイッチは防塵型とする (2) 扉開閉連動スイッチ併設のこと	
292	取付位置	オイル点検時に便なる位置へ取付	オイルレベルゲージとオイルフィラー部を確実に照射する位置	
293	機能	バッテリーリレーがOFFの時も点灯できること	スイッチはエンジン扉内のわかりやすい位置に設け、銘板付きのこと	
F300. 車内灯	310	室内灯		
	311	灯具、電球	メーカー標準 レール内取付型 レシップ STZ-A652-LED-VB14	(1) 埋込型 (2) #1灯はレーザーの遮光カバー付、フロントガラスへの反射を防止する長さ (3) ゴールドキング KDL-2B821TCまたは同等品 *やむを得ずその他の型式を使用する場合には、カタログ等を提出し局の承認を得ること
	312	灯数	メーカー標準	車体全長が11m以上は5灯
	313	配置	天井千鳥式、#1灯：運転席後	
	314	回路	メーカー標準、2回路 (1-3、2-4)	運転席後と残りの2回路、ただしスイッチは全灯で1個とする
	315	調光	右前1灯は調整式調光装置付 トグルスイッチ (明-暗)	#1灯と#2灯に調整調光装置付
	316	予備灯	なし	
	320	方向幕灯		
321	前方向幕灯	蛍光灯10W×2灯 (白色) 電源は前方行先箱内 (OPT) 20W×2灯	なし	
322	側方向幕灯	蛍光灯10W×2灯 (白色) 電源は後方行先箱内 (OPT) 20W×2灯	なし	
323	後方向幕灯	蛍光灯10W×1灯 (白色) 電源は後方行先箱内 (OPT) 20W×1灯	なし	

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
F300. 車内灯	324	前終車灯	なし	
	325	側終車灯	なし	
	326	後終車灯	なし	
	330	出入口照射灯		
	331	前扉用	メーカー標準 (1)前扉開時点灯(扉連動時) レシップ SY-STP24-LED3W-2 (LED式、角度調整式、シェード付)×1灯 (2)運賃箱上方天井 (運賃箱・ステップ照明兼用)	(1)メーカー標準、運賃箱照射 (2)天井半埋込型 小糸 LEDSTP-24同等品、ステップ照射 (3)LED丸形光軸調整式(2灯とも防幻防止カバー付) (4)前扉開時点灯(連動時) (5)手動点灯可能式 (6)ステップ上方の天井と運転席上方の天井に換気装置を挟み取付 *上記仕様が不可の場合は、図面を提出し局の承認を得ること
	332	中扉用	メーカー標準 (1)中扉開時点灯(扉連動時) レシップ SY-STP24-LED3W-2 (LED式、角度調整式、シェード付)×1灯 (2)ステップ上方天井	(1)天井半埋込型 小糸 LEDSTEP-24同等品 (2)LED1灯 (3)中ステップ上方中央の天井又は、クーラーダクト部へ取付 (4)中扉開時点灯(連動時) (5)手動点灯はなし (6)ワンマンミラーに写りこまない構造であること *上記仕様が不可の場合は、図面を提出し局の承認を得ること
360	床段差警告灯	なし	(1)オージ ステップライトST-300同等品 各段幅最大限に取付、突起のないように施工すること (2)オージ コントロールボックスST-C2同等品 運転席右スイッチボックス内に設置し、緑色灯火の配線は結線しないこと	
F400. パイロットランプ	410	戸開知らせ灯		
	411	灯具、電球	メーカー標準 (BF013-C、赤色レンズ付)	
	412	取付位置	前面窓上左天井付近	
	413	機能	中扉「開」により点灯	
	420	乗客知らせ灯		
	421	灯具、電球	メーカー標準 (BF013-C、橙色レンズ付)	
	422	取付位置	前面窓上左天井、扉開知らせ灯の前側	
	423	機能	間接確認装置により点灯	
	430	停車パイロットランプ		
	431	灯具、電球	メーカー標準 一般席用及び車椅子席用設置 (2系統)	オージ 一般席用 : DS 501-J1同等品 車いす席用 : DS 501OK-J1同等品
432	取付位置	メーカー標準	ダッシュ板左側(並びは一般席用左、車いす席用右) *スターフの視認性を配慮すること	
440	ストップランプチェッカー	メーカー標準		
490	その他	なし	後退灯(橙色)、インターロック灯(緑色)パイロット BF013-C各1個取付 シートベルト警報パイロット取付 *運転席廻り配置図を提出し局の承認を得ること	
F500. 放送装置	510	ワンマンバス用放送装置		
	511	銘柄、型式	支給品取付	
	512	本体	支給品取付 取付位置：運転席右上配電箱後方	支給 *配線類は支給しない (1)小田原機器 BVC-10支給品取付 *取付位置は局の承認を得ること (2)脱着容易なこと (3)乗務員が頭をぶつける危険の無い位置であること
	513	マイクロホン	メーカー標準 クラリオン EMA-026 (タイピン式)×1個 (1)運転手の襟又は胸に装着できるもの (2)右側スイッチボックスに掛金具を取付	マイクジャック：小田原機器 PMA-008同等品を運転席右側スイッチボックスへ取付 *マイクは納車後当局で取り付けるので、納車前に十分なテストを行うこと
	514	車内放送スピーカー	メーカー標準 (レール内取付型)×2個 Jバス品番(OEM)：JS-60 添付の天井配置図による	メーカー標準×4個 ・どの音量においてもハウリングを起こさないこと ※配置図及び配線図等を提出し局の承認を得ること
	515	車外放送スピーカー	メーカー標準 前乗り：前扉後側外板に取付	レゾナント S-50CS1型同等品×1個取付 料金表示枠、入口表示位置に注意
	516	操作スイッチ	支給品取付 取付位置：運転席右 スイッチボックス上面	小田原機器 BVS-10-01支給品取付 *取付位置は局の承認を得ること
	517	機能	支給品内容による (1)車内放送で次停留所、乗り換え案内などを繰り返し行えること (2)車外放送で行先、経路等の案内を繰り返し行えること	別途指示による 停留所名表示器、LED式行先表示器連動式
	518	系統設定器	支給品内容による	小田原機器 BVM-10支給品取付 運転席右スイッチボックス上面の#1柱付近に取付 *取付位置等は運転席廻り配置図を提出し局の承認を得ること
	519	行先表示器 インターフェース		他機器とのインターフェースは請負者手配 ※支給品機器(料金箱・放送装置・行先表示器)等が正常に連動し、作動するよう必要な情報及びインターフェースを支給品機器メーカーから入手すること
	560	後方確認テレビ		
	562	モニターテレビ	メーカー標準	クラリオンCJ-7800 (同等品) *ON-OFFスイッチ：運転席右下配電箱内 *【機能】ON時：常時映像表示 OFF時：バック映像表示 バックカメラの画像をドライブレコーダーに入力できること (配線支給)
	563	カメラ	メーカー標準	

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様																			
F600. 連絡及警報装置	601	EDSS	メーカー標準																			
	602	運転席用SW	計器盤中央左下																			
		客席用SW	運転席仕切通路側支柱																			
	603	音声警報用スピーカー	車両左中扉上レール部																			
	604	客室フラッシュラン	F602 客席SW一体型																			
	610	インターホン																				
	611	銘柄、型式	メーカー標準																			
	613	アンプ及びマイクロホン	メーカー標準																			
	620	乗客降車合図装置																				
	621	銘柄、型式	メーカー標準	オージ LED式																		
	622	押釦及び表示装置	メーカー標準 優先席から座ったままで操作できる位置に設置及び車椅子専用押釦を設置	オージ WS-280シリーズ (LED式、英文字入り、CUD認証) 同等品を取付場所により使い分けること 柱部「WS-280」、跳ね上げシート部「WS-281」、握棒部「WS-282」、固定窓鴨居部(右)「WS-280SGR」(左)「WS-280SG」																		
	623	制御装置	メーカー標準 (レシップ KSC-1301A) 運転席右上配電箱取付	オージ ES-405WW-1-J1型(連動点灯式)同等品																		
	624	合図ブザー	無接点式、本体組込又は本体付近に取付																			
	625	リセットスイッチ	計器盤停車ランプ付近取付 (押釦及び停車パイロットランプの点灯消去一般席及び車いす席用取付釦は色違いのこ(押し違い防止)	オージ 一般席用 : RS-42-J1(白色)同等品 車いす席用 : RS-42Y-J1(黄色)同等品 各1個をパイロットランプと対に取付																		
	626	点検スイッチ	押釦スイッチの機能を点検するための点検スイッチを本体又はその付近に取付																			
	627	機能	(1) 出口扉閉時押釦を押したときに押釦ランプ及び停車パイロットランプが点灯しブザーが鳴る。出口扉を開にしたときに消灯 (2) 点灯後は押釦を押してもブザーは鳴らな	(1) 出口扉開時に押釦を押したとき有効 (2) 車いす席用押釦のリセットはスロープ板収納蓋操作時とすること (3) 車いす席用押釦を押したときには一般席も連動点灯すること (4) 車いす席用押釦は、シートを跳ね上げた時作動すること																		
	628	取付位置	メーカー標準	メーカー標準 (1) 押釦の縦握棒取付位置は床面より1400mm (2) 押釦の座席付近の窓柱取付位置は床面より1200mm (3) 表示ランプ追加位置 ・ 車いす席(専用) ・ 車いす席(専用)フリースペース車は壁に取付けのこと ・ その他局が指示した場所 図面を提出し局の承認を得ること 図⑧参照																		
	629	回路	メーカー標準	一般席用1回路、車いす席用2回路																		
	630	後退ブザー																				
	631	銘柄、型式	メーカー標準、無接点断続音式																			
	632	取付位置	車体後部に取付	埃、水等による故障が発生しないよう配慮し取付けのこと																		
	633	機能	変速機をバックにした時に鳴る																			
	640	非常扉警報装置																				
	641	ベル	メーカー標準	大光 DB20同等品																		
	642	取付位置	メーカー標準	非常扉後柱上方へ取付																		
	643	機能	非常扉レバーカバー取を外し時及び扉開時に鳴る																			
	660	緊急連絡装置 (バスジャック対策)																				
	661	緊急連絡装置	付	作動時に点灯すること 運転席右下配電箱側面取付、SOS表示：行先表示器																		
	680	左折警報装置																				
	681	銘柄、型式	なし	レゾナント DMK-810-273-00同等品 起動釦：RS-24、スピーカ：VPS-3W-00AS (防水)																		
682	取付位置		(1) 音声合成放送装置は、左側ダッシュ板の中 (2) 起動釦位置：製作要領図の運転席側面スイッチパターン図参照 (3) スピーカーは、前側車外左付近																			
683	機能		スモール点灯で減音すること																			
「降車合図釦動作及び点灯パターン」																						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>点灯 押釦</th> <th>一般 席</th> <th>車いす 席①</th> <th>車いす 席②</th> <th>消 灯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般席</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>中扉開閉時又は リセット釦</td> </tr> <tr> <td>車いす席①</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td rowspan="2">スロープ板収納蓋開時 又はリセット釦</td> </tr> <tr> <td>車いす席②</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">◎：押して点灯 ○：連動して点灯 ×：不灯</p>				点灯 押釦	一般 席	車いす 席①	車いす 席②	消 灯	一般席	◎	×	×	中扉開閉時又は リセット釦	車いす席①	○	◎	×	スロープ板収納蓋開時 又はリセット釦	車いす席②	○	×	◎
点灯 押釦	一般 席	車いす 席①	車いす 席②	消 灯																		
一般席	◎	×	×	中扉開閉時又は リセット釦																		
車いす席①	○	◎	×	スロープ板収納蓋開時 又はリセット釦																		
車いす席②	○	×	◎																			
699	その他の警報装置	なし	シートベルト警報ブザー 機能：シートベルト未装着時+ホイールパーク解除時ブザー吹鳴																			

※フリースペース車については、別途専用の押釦に切替スイッチを用いて車いす専用押釦を設けるが、動作・点灯パターンは車いす席と同様の機能にすること

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
F800. スイッチ、ヒューズ および フラッシュユニット	810	計器盤の灯火器スイッチ	
	811	前照灯スイッチ	メーカー標準 (1)表示(ISO) (2)計器灯、車幅灯、尾灯、番号灯、スイッチ併設
	812	霧灯スイッチ	メーカー標準 表示(ISO)
	814	非常点滅灯スイッチ	メーカー標準 表示(ISO)
	815	パイロットランプ チェックスイッチ	メーカー標準
	820	計器盤のその他のスイッチ	
	821	ワイパースイッチ	メーカー標準 表示(ISO)
	822	スタータスイッチ	メーカー標準、回転式
	823	バッテリーリレー スイッチ	メーカー標準(方式:回転引張り式) 計器盤中央右下取付、表示(ISO)
	824	集中給油装置スイッチ	メーカー標準 (なしも含む)
	825	排気ブレーキスイッチ	メーカー標準 表示(ISO)
	826	スロットルボタン	メーカー標準 表示「FUEL」又は「燃料」
	827	車高装置スイッチ	メーカー標準 ホイールパークレバー右横
	830	その他の位置につくスイッチ	
	831	ホーンスイッチ	メーカー標準、押ボタン式
	832	方向指示灯スイッチ	メーカー標準、レバー式 (前照灯減光スイッチを併設)
	833	減光スイッチ	メーカー標準、レバー式
	840	スイッチボックス側面 スイッチ(標準仕様)	
	841	配列	メーカー標準
	842	室内灯スイッチ	メーカー標準
	843	方向幕灯スイッチ	メーカー標準
	844	出入口照射灯スイッチ	メーカー標準
	845	路肩灯スイッチ	メーカー標準(なしも含む)
	847	予備スイッチ	なし
	848	室内灯調光器	メーカー標準
	850	スイッチボックス側面 スイッチ(特別仕様)	
	851	配列	
	852	終車灯スイッチ	
	853	終車前灯スイッチ	
	854	間接確認装置 解除スイッチ	
	855	料金箱電源スイッチ	
	856	その他	
	860	エンジンルームスイッチ	
	861	点検灯スイッチ	油量点検に便利な位置
	862	バッテリーリレースイッチ	メーカー標準、銘板付
	863	スタータリレースイッチ	メーカー標準、銘板付
864	スタータスイッチ	メーカー標準、銘板付	
870	ヒューズボックス		
871	銘柄、型式	メーカー標準、1回路1ヒューズを原則として回路名を表示	
872	取付位置	メーカー標準	
880	フラッシュユニット		
881	方向指示灯用	なし(電装品統合BCMを含む)	
882	非常点滅灯用	メーカー標準 バッテリーリレーがOFFでも動作する	
890	スイッチボックス		
891	取付位置	メーカー標準	

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
F900. 配線、その他の電 装品	910	配線図	提出図による	
	920	配線		
	921	配線方法	メーカー標準	(1)回路の分岐は原則として機器端子で行う (2)電線の途中継足しはできるだけ避け、やむを得ず継ぎ足しするときは完全に接続の上、十分に絶縁する (3)エンジン本体、燃料タンク及び灯具を取付けたエンジンルーム点検扉は完全にアースをする (4)エンジンルーム内配線は加熱部を避け、且つ燃料管と電線の接触は避ける (5)予備線(運転席～エンジンルーム間)を3本設ける (6)バッテリーコードはメーカー標準 (7)配線色はBF024 (8)金属部を貫通する場所はゴムブッシュ、ゴムホースで保護する (9)料金箱用ヒューズ5Aは、料金箱～前扉用ドアエンジン配線(オレンジ)の中間へ入れる
	922	バッテリーコード被	メーカー標準	
	923	ターミナル形状	メーカー標準	
	930	コンセント		
	931	点検灯コンセント	メーカー標準	
	932	バッテリーコンセン	同上(なしも含む)	
	940	掲出用電装品		
	941	急停車表示灯	なし	
	942	停留所名表示器	ユーザー支給品取付 取付位置：前方向幕板左	(1)小田原機器 BFD-2201S(支給品)前左方向幕裏蓋に取付 ※機器を取り付けるステーは、裏蓋に車内からボルトのみで固定できるようにすること (2)音声合成放送装置連動 (3)前照灯スイッチ1段目(スモール)位置で減光すること (4)調達品のインターフェースは延長加工しないこと ※ハーネス類は支給しない *取付位置・方法は局の承認を得ること
	950	その他の電装品		
	951	乗降中表示灯		(1)LED式乗降中表示器取付 (2)前、中扉「開」時に「乗降中」が点灯する (3)スロープ板取出し時車椅子表示 (4)メインスイッチON時に有効
	95E	ドラレコ配線	ユーザー支給品取付	(1)準備配線(支給品)の取付けは車両製造過程で行うこと (2)電源線、信号線、カメラケーブル、マイク延長ケーブル、アース線の施工及びドラレコ配線用サービスホールを車外2箇所、車内4箇所計6箇所施工シグロメットを着けること ※カメラケーブル及びマイク延長ケーブルの取り付け位置については、局の承認を得ること (3)本体取付位置 図⑬参照

G 仕切構造及握棒

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
G100. 運転席仕切構造	110 構造	メーカー標準 Hボール間下部：ポリカーボネート板	(1) 運転席後方の仕切は極力後方に下げ、運転席前後寸法を最大限確保すること (2) 左側仕切は料金箱がしっかり支えられること (3) 料金箱後側の支えパイプは、床面(料金箱台)取付とし、凭れパイプ付とすること(h型) (4) 料金箱仕切パイプの固定は化粧ボルト、ナットを使用すること。又、前方はSUS棒付ポリカーボネート板を追加し隙間はゴム材で塞ぐこと。風防板は脱着可能とすること(ゴム材は、変形しない厚さの物を使用のこと) (5) 仕切は前扉が開いても適当な間隔があり指挟みのないこと (6) Hボール前側上部は、全面を塩ビ鋼板又は合板等で被うこと (7) 客席側水平式握り手設置 (8) Hボール間下部のポリカーボネート板はブルースモーク色 図⑬参照
	120 仕切板	メーカー標準	Hボール～側窓間にポリカーボネイト板追加 客席側から手が入らない構造であること 図⑬参照
	130 仕切棒	メーカー標準	扉タイプ、構造については、図面を提出し、局の承認を得ること 運転席仕切棒の受金具は、BG023型とすること *走行中にかたつきにより、異音が発生しない構造とする
G200. 出入口仕切	210 前扉部仕切	メーカー標準	(1) 前扉後仕切支柱の上側は、左#2柱部取付とし、取付部からかたつきがないこと (2) ポリカーボネイト板追加(飛出防止用) *図面提出し局の承認を得ること
	220 中扉部仕切	メーカー標準	*図面を提出し局の承認を得ること 図⑩参照
	230 仕切板	メーカー標準	びびりのない構造であること
G300. その他仕切	310 シート前仕切	メーカー標準	G210項参照 *図面を提出し局の承認を得ること 図⑪参照
G400. 握棒	410 天井握棒	メーカー標準 本数：3本式 塗色：中央は黄赤色の粉体塗装、左右はBS-4色	メーカー標準 (1) 配置：中央1本、左右各1本 図⑭参照 (2) 高さ：左右1,850mm(中扉前は1,900mm) (3) 中央、中央後部1,900mm 天井配置図を提出し局の承認を得ること
	420 前扉昇降用握棒	メーカー標準、添付図による 乗降のための握り棒を両側に設ける	メーカー標準 (1) 手すりの太さは25mm程度 (2) 色は朱色又は黄赤色 (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げ *図面を提出し局の承認を得ること
	430 中扉昇降用握棒	メーカー標準、添付図による 乗降のための握り棒を両側に設ける	メーカー標準 (1) 手すりの太さは25mm程度 (2) 色は朱色又は黄赤色 (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げ *図面を提出し局の承認を得ること 図⑩参照
	440 計器盤握棒	なし	
	450 吊革	メーカー標準、丸型、1本バンド式(OPT) 2本バンド式 丸型「パターンA」、「パターンB」は天井左握棒にBG135-C取付	取付高さ：吊り輪下端で1,600mm 配置図を提出し局の承認を得ること *優先席部の4個のみ黄色とすること
	460 出入口上握棒	なし	
	470 立席握棒	広い歩きを考慮した握棒や手すりなどを配置 縦握棒を座席3列ごとに1本配置 フロントフェンダー上部に手すりを配置 前扉から運賃箱の間に手すり又は握棒を配置	(1) 縦握り棒を座席2列ごとに1本配置 (2) 車椅子スペースはその前後に縦握棒を配置 (3) フロントフェンダー上部に手すりを配置 (4) 前扉から運賃箱の間に手すり又は握棒を配置 (5) 握棒や手すりの太さは30mm程度 (6) 色は朱色又は黄赤色 (7) 表面は滑りにくい素材や仕上げ (8) 後部縦握り棒を非常扉前を省く座席に設置 図⑭参照 (9) 後部段上がり部天井中央に握り棒1本取付 (10) フリースペース部固定窓に横握棒を2本配置 *図面を提出し局の承認を得ること
	480 車いす用握棒	車いすスペースに車いす使用者が利用できる握手又は手すりを設置	(1) 移動円滑化基準適合 (2) 折りたたみ座席横腰板部へ保護クッション付φ25握棒または、握り手を床面と水平に取付 (3) 折りたたみ座席を跳上げた時、指挟みしない高さとする
G600. その他	610 ハイブ保護クッション		
	611 材質、形状	材質はメーカー標準 色及び形状はBG024 色：一般部はブラウン色、出入口部は黄色	色は朱色又は黄赤色
	612 取付位置	メーカー標準	前、中扉仕切及び立席握り棒は黄赤色のクッション材を取付けること 前扉用：BG131-A 中扉用：BG132 立席用：BG133B 各扉仕切横パイプ
	614 飛沫防止カーテン	Jバス純正品 (K500083910)	運転席用 Jバス発車の取付要領書のとおり取り付けを行うこと
G700. 乗車口制限鎖	710 前入口		(1) 朱色又は黄赤色のビニールチューブで覆った脱着可能な鎖 (2) 前扉前戸先側から料金箱前仕切部と、前扉後戸先側から前入口仕切部へ設ける (3) 取付高さ：床面から700mm (4) 戸先側に回転なす管取付、仕切側にリングキャッチ(φ4)取付 (5) 前、中扉、グライドスライド及び折り戸扉に適用

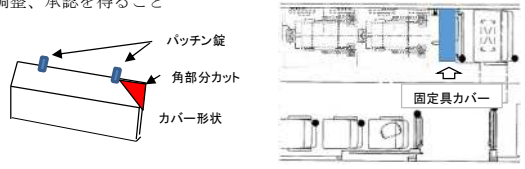
区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
H 通風、冷房装置				
H100. 強制通風装置	110	天井換気扇 なし (OPT) あり	(1) ゴールドキング CIA-94BD-1(運転席用) CIA-94BP-1 (客席用) 同等品 (2) (1)の部品及び個数が取付けができない場合は、天井配置図を提出し局の承認を得ること ※運転席用の取付位置については、スイング角度が運転席に対して有効に当たる位置に配置 *配置図面を提出し局の承認を得ること (3) 運転席上部、客席上部、各1箇所 (4) 運転席用、客席用、スイッチ各1個設置 (風量の強弱切替SWと換気切替SWは分けること) (5) 本体の脱着は客席側から行えること (6) 天井換気扇カバー取付部に天井及びカバーの湾曲対策用の追加補強すること (7) 天井換気扇カバー本体にも湾曲対策を施されたものを取付けること (8) スイッチ位置表示は見やすいものであること (ステッカー等で対応すること。) *図面を提出し局の承認を得ること *不可能な場合は局の承認を得ること	
	120	吸排気装置 なし		
H200. デフロスタ	210	温水式		
	211	銘柄、型式	メーカー標準	
	212	本体	メーカー標準 (1) 放熱量4.65kw 4,000kcal/h以上 (2) 計器盤下又は運転席右側へ取付	(1) 床下での配管温水温度の低下がないこと (2) 運転席への十分な風量を確保すること (3) フィルタの清掃が容易なこと
	213	前窓吹出口	メーカー標準	(1) 平均に吹き出すこと (2) 最大限の風量を得られる構造であること
	214	運転席吹出口	メーカー標準	(1) 吹出口はダクト、ホース等により運転席前方左右に設けること (2) 十分な風量を得られること
	215	スイッチ及び切替装置	メーカー標準	(1) 表示銘板付 (2) 5段切替 (OFFを含む) *不可能な場合は局の承認を得ること
	216	配管	メーカー標準 暖房温水配管に接続する 配管要領はH414項に準ずる	特に床下配管は、温水温度が低下しないよう、断熱処理を行うこと
H300. 暖房装置	310	温水式		
	311	銘柄、型式	メーカー標準	
	312	本体	(1) 放熱量4.65kw 4,000kcal/h以上 (2) 客席下へ2個取付 (OPT) 客席3個以上	(1) 低温火傷の原因とならない構造又は対策を講じること (2) 温水が漏れても乗客に掛かることのない構造であること (3) フィルタの清掃が容易なこと (4) タイヤハウス上部に格納箱を設ける場合、乗客の安全対策のため、角部に保護パッドを貼ること
	313	スイッチ及び切替装置	メーカー標準、各々表示銘板を取付 本体1基につきスイッチ1個 取付位置：運転席付近	
	314	配管	(1) 客室内は床上配管とし、右側腰板に沿って配管する (2) 主配管はポリプロピレンパイプ又はSUS製とする (3) ラバーホースを使用する場合はJIS規格D2602に適合するもので耐久性のあるものを使用する (4) ストップバルブは不銹材製ゲートバルブ (5) 配管カバーは点検に便なる分割型とする (6) 本体と主配管との接続ラバー部は客室内に露出しない様脱着式防護カバーで遮へいすること (7) 循環用水ポンプを取付	床下配管は、温水温度低下のないよう断熱処理を施すこと (1) 循環用ポンプ：デンスー又はミクニ (2) 循環ポンプ既成のカブラで結線すること (3) 運転席右スイッチボックスへパイロットランプ (緑色) 付スイッチ取付 *不可能な場合は局の承認を得ること
H400. 冷房装置	420	メインエンジン駆動式		
	421	銘柄、型式	メーカー標準	銘柄、型式、性能について局の承認を得ること
	422	ダクト	メーカー標準 上部固定、下部可変式 運転席は可変、シャッター付	右最前部吹き出しグリルD席向きグリル取付け 全閉が可能な構造であること *不可能な場合は、局と調整、承認を得ること
	423	コントロールパネル		車内に取付ける場合は「この上に物を置かないでください」と記入のこと
	424	クーリングユニット		(1) フィルタ脱着作業が容易なこと (2) フィルタカバーの脱着はマグネット式、ただし、脱落防止用の金具等を取付けること (3) 結露が発生し水滴が落下することのないこと (4) 均一な風量を確保すること (5) サイトグラス用の点検窓を設置し、そのメンテナンス性も考慮すること
	425	その他		(1) クーリングユニット・ダクトは基本的に天井同色とする (2) 納車後、当局指示の車両については、冷房シーズン中に装置の効果測定を立会いのうえ実施すること (3) 納車の翌年度の冷房シーズン前にシーズンイン点検を行うこと。なお、冷房シーズン前納車の場合は当該年度のシーズンイン点検も行うこと (4) フィルター付近の天井化粧材の歪み対策プレートを設置すること ※図面を提出し局の承認を得ること

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
J 車外取付品			
J 100. バンパー	110	フロントバンパー メーカー標準	バンパー下面左右に垂れ幕取付用のフック金具取付 *不可能な場合は局と調整、承認を得ること
	120	リヤバンパー メーカー標準	
	130	バンパーデッキ メーカー標準 前：付、後：なし	(1)前あり (バンパー上面取付) (2)先端上向R付編板 その他の場合は局の承認を得ること (バンパー一体式など) 図②参照 *不可能な場合は局と調整、承認を得ること
J 200. ミラー	210	リヤビューミラー メーカー標準	熱線式 左右共通：BJ003-C (1000R) 大東プレスDI-7Z (または同等品) 作動スイッチはダッシュパネル右側に取付 *作動スイッチ取付位置については契約後打合せにより決定する ※やむを得ず同等品の場合、カタログ等を提出し局の承認を得ること
	220	アンダーミラー メーカー標準 BJ004-A又はBJ004-B	左右共通：BJ004-B
	230	前面行き先表示確認ミラー なし (ユーザーOPT)	前面行き先表示が確認出来る位置にミラー取付のこと *図面を提出し、局の承認を得ること ミラー：大東プレス DI-41 (外形102W×242H) 同等品
	240	サイドアンダーミラー なし (ユーザーOPT)	左側バックミラーステーに取付のこと BJ004-CまたはBJ004-D
J 300. 表示	310	事業者紋章 なし (ユーザーOPT)	製作要領図により取付
	320	ワンマン関係表示	
	321	出入口表示 ステッカー式、英字表示記入 入口：BJ107-B 出口：BJ103-B 扉後方に貼付	(1)ピクトグラム BJ107-C、BJ103-C (2)スピーカー、料金表示枠の位置に留意すること *取付位置は塗装図を提出し局の承認を得ること
	322	インターホン銘板 BJ104 : 扉後方に取付	製作要領図の塗装基準図・車外取付品により取付
	323	車いす乗車表示 BJ007-A : 中扉前側貼付	製作要領図の塗装基準図・車外取付品により取付
325	危険物持込禁止表示板 BK021-C : 入口付近に取付	K221項による	
J 500. 前後面取付品	510	牽引用フック メーカー標準 車体前、後面へ各1個取付	
	520	ナンバープレートステー メーカー標準	
	540	旗立 なし	(1)前面左右の角部に旗棒を取付けること (2)旗棒の上下にはネジ式リングを取付けること (製作要領図の旗立取付部材図参照) (3)灯火類と同一高さを取付けけないこと (4)車両後方に向け取付けること *位置等は局の承認を得ること 不可能な場合は局と調整、承認を得ること
	550	清掃用握手 メーカー標準	前側のみ 取付位置は図面提出の上、局の承認を得ること 図②参照
	560	後面反射器 メーカー標準	メーカー標準、車体後面左右へ各1個取付
	570	各種標識取付金具 なし	(1)料金表示枠取付 表示板寸法 350W×180H (2)取付位置は前扉後の入口表示付近外板とし、局の承認を得ること (3)表示板、車体接触面にカラー1個取付
J 600. 側面取付品及 掲示枠取付品	610	側面掲示板枠 なし	(1)左側面掲示枠取付 寸法：1,200mm(W)×600mm(H) 左1個 (中扉前：上差式) (2)各々枠前方上下両端にステン三角補強板取付 (3)広告板、車体接触面にカラー取付 (4)右側はマーキング塗装とする (5)マーキング塗装は製作要領図による (6)車体外観図を提出し局の承認を得ること *不可能な場合は、局と調整、承認を得ること
	620	後面掲示板枠 なし	横差式1,000mm(W)×450mm(H)×1個 *不可能な場合は、局と調整、承認を得ること
	630	広告幕吊金具 なし	(1)フロントバンパー下部左右に幕掛け金具取付 (2)上方に幕紐が掛かる場所が無い場合は前窓下外板左右にも取付
J 700. 床下機装品	710	ジャッキアップポイント メーカー標準 前後輪部左右各1個	(1)泥除けと干渉せず、また、エアベローズ取替作業の妨げとならないこと (2)フレームの穴、腐食を考慮して十分な補強をすること 地上からの高さは左右同じとすること
	720	泥除けゴム メーカー標準	(1)跳ね上げによる泥の進入防止対策を図ること ※燃料タンク給油口付近への跳ね上げ対策は特に注意を図ること (2)取付部に隙間がないこと (3)床下機器へ支障がない場合は不要
	730	バッテリー格納装置 メーカー標準、引出式 点検給水のしやすい構造とし防錆対策を充分にすること	(1)格納箱にガス抜き用通気孔等を設けること (2)格納箱に水抜穴を設けること (3)メインバッテリーとサブバッテリーは独立したステーで固定すること
	750	トランクルーム なし	
	760	エアタンクドレン メーカー標準	(1)引き手部分を黄色にペイントすること
J 800. エンジンルーム取付品	810	物入庫 なし	
	820	アンダーカバー メーカー標準	(1)脱着が容易なこと (2)オイル交換、オイルフィルタ交換が容易なこと (3)可能な限り独立した小窓とすること

K 車内取付品

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様	
K100. 料金機器	110	料金箱		
	111	銘柄、型式	釣銭受皿等は、床面から600mm以上に設置 (1) 釣銭受皿等は、床面から600mm以上に設置のこと (2) 支給品取付 (小田原機器 FTS本体) (3) 取付台を製作して取り付けること (4) 走行中がたつきのないこと (5) 他機器とのインターフェースは請負者手配 ※F519同様	
	114	取付位置	運転席左側で乗客の通行に影響を与えない位置 (1) 運転席左側、運転席開口を最大限確保すること (2) 前後仕切棒から本体へ振れ止めブラケット取付 (3) 後側支柱(支え付)から本体へ振れ止めブラケット取付 (4) ブラケットは仕切棒の2/3以上を巻き込み、通しボルト袋ナットで固定する *図面を提出し局の承認を得ること	
	115	取付台	取付台の大きさは必要最小限とし、最大限通路を確保すること	
	210	出入口用銘板		
K200. 銘板	211	出口車内表示銘板	(1) 入口の鴨居室内側中央へ BK115-Bを取付 (2) 出口の鴨居室内側中央へ BK117-Bを取付 製作要領図により取付 (整理番号001)	
	212	ステップ乗車注意表示銘板	出入口付近へ BK118-C取付 製作要領図により取付 (整理番号002-1)	
	214	自動扉注意銘板	入口、出口の戸当側室内側へ BK114を各1枚取付 製作要領図により取付 (整理番号004)	
	215	扉非常開閉用表示銘板	入口、出口の「扉非常開放ロック」上部室内側へ各1枚取付 BK112-A 製作要領図により取付 (整理番号005-1)	
	216	非常扉用表示銘板	表示板はハンドルカバーに BK024-Dを取付 BB052参照 (整理番号006)	
	217	非常口表示	非常扉ガラスへ BB058貼付 ビクトグラムBB058-A (整理番号007)	
	218	ステップ乗車注意銘板		(1) 前扉用: ダッシュ板左下縦面に貼付 (2) 中扉用: 中扉固定ガラスに貼付 (3) 製作要領図により取付 (整理番号023-1、2、3) *前扉用は車両による
		扉開閉注意札		(1) 中扉固定ガラスに貼付 (2) 製作要領図により取付 (整理番号023-2、023-4、023-8)
		扉開閉注意札		(1) 前扉用: 前扉前床面に貼付 (2) 中扉用: 中扉前床面に貼付 (3) 製作要領図により取付 (整理番号023-5)
		扉開閉注意札		(1) 前扉中央部に貼付 (2) 製作要領図により取付 (整理番号023-7)
	221	危険物持込禁止表示銘板	BK021-Cを入口付近へ取付 (1) 燃料タンク格納横壁 (前扉側) (2) 中扉ガラス下左寄り (3) 製作要領図により取付 (整理番号008-1)	
	222	禁止行為表示銘板	BK022-Cを車内天井付近へ取付 (1) 中扉鴨居上部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号009-1)	
	223	禁煙銘板	BK023-Dを室内前面上部へ取付 ステッカー式 ビクトグラムBK023-D (1) 前方向幕裏蓋部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号010-3)	
	224	禁煙銘板	BK023-Cを室内後面上部へ取付 ステッカー式 ビクトグラムBK023-C (1) 後方向幕裏蓋部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号010-2)	
	230	その他銘板		
	231	乗客降車合図装置表示銘板	BK111 押ボタンに表示がある場合は不要 (1) 車いす席用押ボタン付近に「車いす席専用」銘板取付 (2) 製作要領図により取付 (整理番号011)	
	232	車両番号銘板	ユーザー仕様による (1) 前方向幕裏蓋部 (2) 中扉鴨居部 (3) 製作要領図により取付 (整理番号012)	
	233	事業者名銘板	ユーザー仕様による (1) 前方向幕裏蓋部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号013)	
	234	ミッド操作位置銘板	メーカー標準	
	235	踏切一旦停止銘板		(1) 右#1柱部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号017)
	237	暖房注意表示銘板	BK031、BK031-Bをヒーター本体取付部腰板又は座席背裏に貼付 製作要領図により取付 (整理番号036-1、3)	
	238	上り段差用注意銘板		(1) 車内通路段差部 (ビス止めのこと) (2) 製作要領図により取付 (整理番号018-1)
	238	下り段差用注意銘板		(1) 車内通路段差部 (ビス止めのこと) (2) 製作要領図により取付 (整理番号018-2)
	238	さわるな表示銘板		(1) 中扉固定ガラスに貼付 (2) 製作要領図により取付 (整理番号023-4)
	238	窓注意銘板		(1) 左右側窓柱部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号015)
	238	子供お願い札		(1) 右#1席腰板部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号016)
	238	足元注意札		(1) 車内段差部上方の天井に懸垂式(両面表示) (2) 段差部縦面に貼付式 (3) 製作要領図により取付 (整理番号018-3)
	238	お願い札		(1) 左右側窓柱部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号019)
238	プレーキ注意札		(1) 左右側窓柱部 (2) 製作要領図により取付 (整理番号020)	

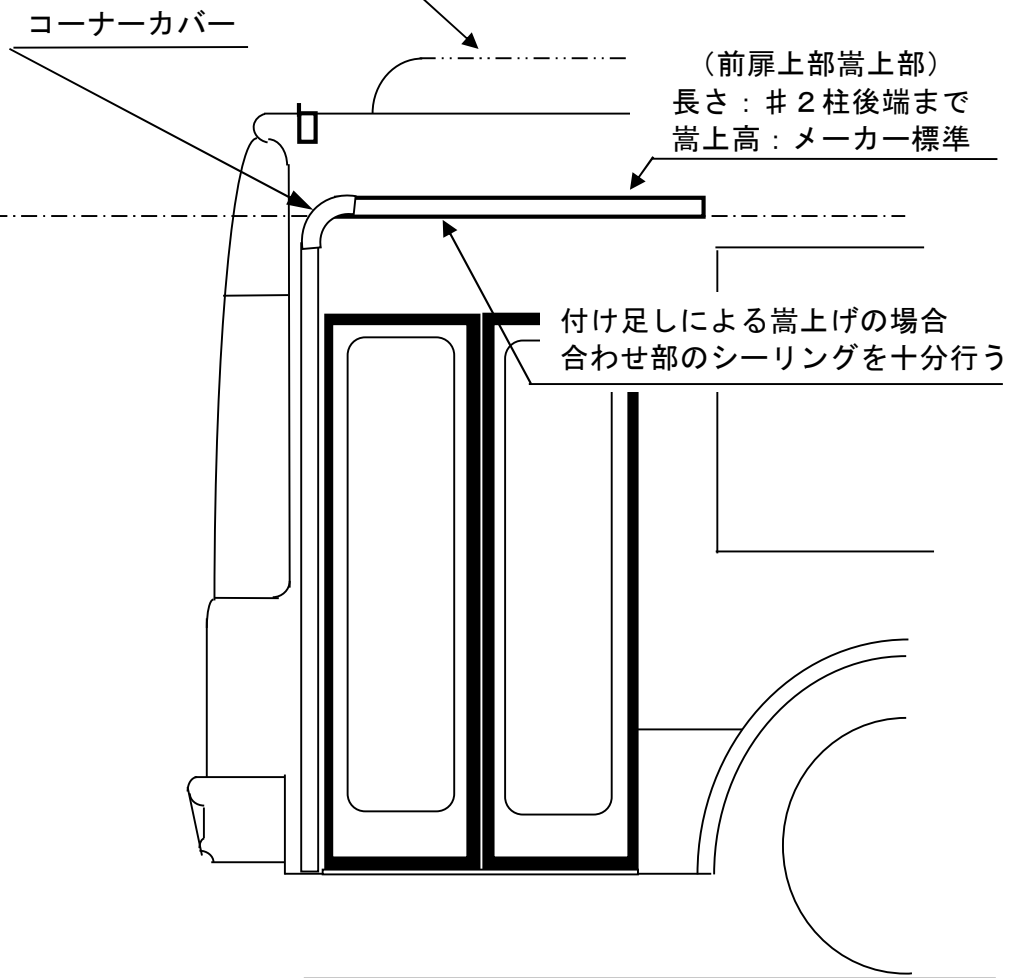
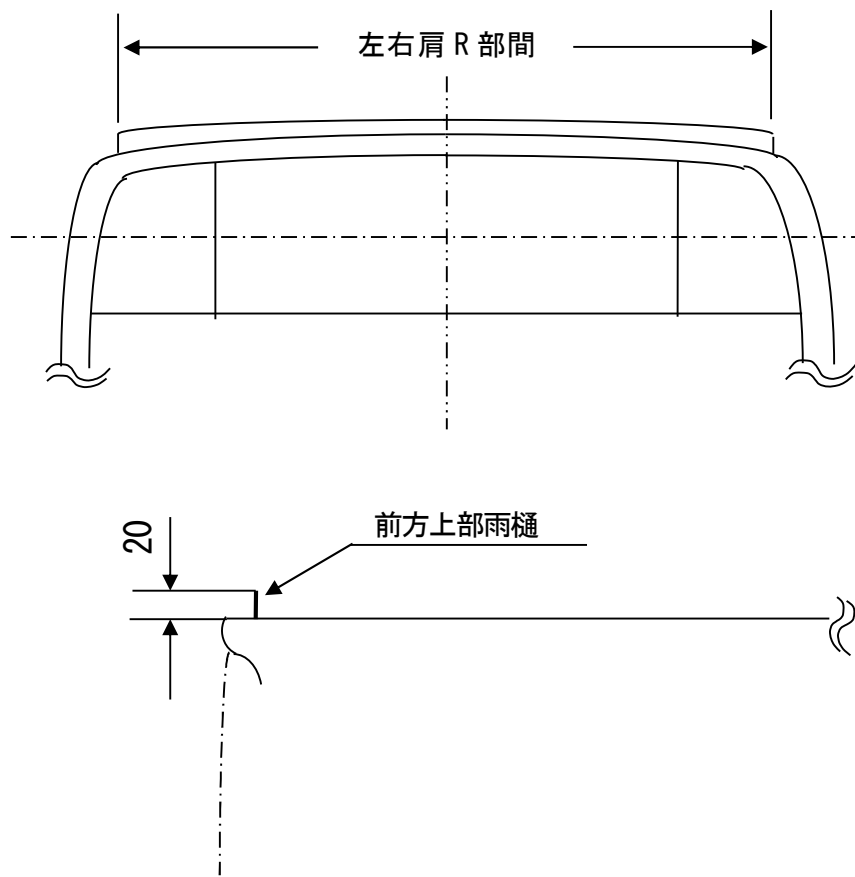
区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
K200. 銘板	238	急ブレーキ注意札	(1)左右引違窓枠部 (2)製作要領図により取付(整理番号021)
	238	ご同伴札	(1)燃料タンク格納横壁(前扉側) (2)製作要領図により取付(整理番号022-1)
	238	消火器位置表示銘板	メーカー標準 (1)Hボール後側 (2)製作要領図により取付(整理番号024)
	238	アイトリングストップバス	(1)側方向幕裏蓋部に貼付 (2)後方向幕裏蓋部に貼付 (3)製作要領図により取付(整理番号031)
	240	座席・車いす関係銘板	
	241	車いす乗車位置表示銘板	BK025を各車いす固乗車付近貼付 製作要領図により取付(整理番号014)
	242	車いす固定方法銘板	BK029を各車椅子乗車位置に貼付 (1)車いす固定場所の後方仕切部及び腰板部 (2)車いす収容台数分(2枚) (3)製作要領図により取付 整理番号:029-4(後方仕切部)、029-3(腰板部)
	243	シートベルト着用表示板	なし
	244	跳ね上げシート操作銘板	BK030-Aを各車椅子乗車位置に貼付 (1)跳ね上げ座席横腰板部 (2)跳ね上げ座席分(4枚) (3)製作要領図により取付(整理番号030)
	245	優先席表示	BK040-Bを優先席付近の窓ガラスに貼付 製作要領図により取付(整理番号028-1)
	246	優先席表示	燃料タンク格納壁及び優先席背面に貼付 製作要領図により取付(整理番号042)
	247	ステッカー板格納場所銘板	ステッカー式貼付
	299	マナーマーク表示銘板	製作要領図により取付(整理番号042-1)
	29A	ベビーカー乗車位置表示 ベビーカー固定操作銘板	製作要領図により取付(整理番号041-4) 製作要領図により取付(整理番号041-5)
K300. 掲出用具	310	車外向け表示	
	311	急行札	なし
	312	団体名札差	なし
	315	満員札	なし
	316	経路札	なし 前方向幕室下部中央(室内ミラー左)に掛金具取付 *懸垂板不要
	320	名札差し	
	321	名札差し	BK015 なし
	322	登録番号札	BK015 ステッカー式 登録番号用数字は車両に積込み登録後貼り付けること
	330	路線系統図枠	
	331	路線図枠	なし(OPT) B3サイズ なし
	332	系統図枠	なし なし
	340	広告取付用具	
	341	広告枠	なし(OPT) レール式 (1)稲垣9364バンド式を基本とする (2)天井R部へ左8枚、右10枚以上取付 (3)冷房ユニット部も使用し、極力後方にならないこと (4)車両構造上、設置に問題が生じる場合は図面を提出し局の承認を得ること
	342	吊り下げ広告挟み	B3サイズ:OP なし
	343	その他広告枠	(1)有効寸法530mm(W)×150mm(H)以上(EDSS装着車は、運転手確認用ポリカーボネート板上方へ広告枠を取付) (2)(1)の上方へ広告貼付用SUS板取付
	360	その他用具	
	361	検査証入れ	メーカー標準 (1)Hボール前側上方へ取付 *EDSS装着車の取付位置は、別途協議のこと (2)BK011-A 170mm(W)×210mm(H)、A5縦対応 (3)製作要領図により取付 図⑩参照
	362	消毒証入れ	BK012 (1)前扉上方付近へ取付(前扉点検カバー上に取付) (2)BK011-A・ケース付 170mm(W)×210mm(H)、A5縦対応 (3)製作要領図による
	363	ダイヤ表差し	なし(OPT) B5サイズ (1)ボールジョイント可動式、マップランプ型LED式照明取付(手元スイッチ付き)設置場所は、局と調整のこと (2)182mm(W)×257mm(H)、B5縦対応、クリップ付 (3)ダッシュ板左方へ取付で、(前方視界において死角を作らない位置で、極力運転席に近い位置)設置場所は、局と調整のこと (4)停車パイロットランプを隠さない位置とすること (5)ダッシュ板がバタつかないよう十分な補強を行うこと (6)ボールジョイント部が緩まないような構造とすること *不可能な場合は局と調整、承認を得ること
390	パンフレット入れ	製作要領図により取付	
K400. 遮光装置	410	サンバイザ 前窓右上	メーカー標準 スモーク色、取付部背金付を取付 ステー取付部に十分な強度を持たすこと *ステー取付部も可動式のこと 可動部が緩まないような構造とすること
	413	サンバイザ 運転席右側窓	なし BK006を運転席横に取付(前方ミラーにかかる部分を斜めカット) *冷房の吹き出し口がある場合、十分に考慮すること
	420	運転席遮光カーテン	メーカー標準(なしも含む) Hボール前側はG110-(6)項による
	430	側窓カーテン	なし

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
K500. ミラー	510 室内鏡	メーカー標準 前面窓上部中央に1個取付	(1)BK101-B (有効280mm×180mm) (2)平面鏡とする (3)ボールジョイント可動式
	520 乗客直接確認装置	(1)大型平面ミラーBK101-B (280mm×180mm)を前面窓左側上へ1個取付 (2)丸型球面ミラーBK102-B (φ285)を中扉ステップ後側上部天井へ1個取付	(1)、(2)共ボールジョイント可動式 クーラーダクトの写りこみ等がないよう取付位置に注意すること
	530 前ステップ乗客確認アンダーミラー	BJ002を前出入口上部へ取付	前ステップ上方へ取付 グライドスライド扉・折り戸扉 大東プレスDA-200同等品取付け
	540 その他のミラー		(1)右#1柱部BK001-Aを1個取付 (2)室内平面鏡左側へ優先席確認用ミラー 大東プレスDI-40同等品取付 (3)(2)の取付は左バックミラー及び室内鏡の射影に影響のない位置
K600. 荷物棚	610 運転席荷物棚	メーカー標準	(1)Hボール前側上方へ脱落防止網付を取付 (2)運転席への乗降の際、障害のない形状、取付位置であること (3)振れないよう固定すること (4)取付不可能な場合には局の指示する位置に変更する
	620 客室荷物棚	なし	
K700. 保安用具	710 消火器	(1)メーカー標準、粉末式 ABC型1.8kg以上 (2)運転席仕切運転席側へ取付	(1)ABC型1.8kg以上 (2)同等品の場合は局の承認を得ること (3)局の車号プラス(-1)を消火器本体に記載すること (4)運転席仕切部に取付困難な場合は局の指示する位置とすること 図⑩参照
	720 信号炎筒	(1)メーカー標準 (2)格納箱BK014に信号炎筒2本を収め 取付位置：運転席右上配電箱	有効期限3年以上あること 図⑩参照
	730 赤旗	BK013×1本 運転席仕切内 取付位置：運転席右上配電箱	走行中に落下することがない事 図⑩参照
	740 信号灯	なし	
	750 車輪止め		
	751 個数	メーカー標準2個	局番号記入(車号のみ) トラロープにて連結のこと(長さ1.5m程度)
	752 取付位置	計器盤下部又はその付近	(1)料金箱前方ダッシュ部へ垂直に外出し取付。上部へロープフック取付 (2)固定ブラケット付 (3)(1)が不可能な場合、局の指示する位置とすること
	760 工具箱	なし	
	770 物入箱	なし	(1)中扉後、扉直近2人掛席下へ取付 (2)タイヤチェーン格納用(腐食対策を行なうこと) (3)(1)の場所が困難な場合は、局の指示する位置とすること
	780 小物入れ		(1)運転席付近へ製作し取付 (2)210mm(W)×145mm(D)×100mm(H) A5サイズ程度(蓋付)
	K800. 乗客サービス品	830 寒暖計	なし
870 車いす・ベビーカー固定装置			
871 車いす固定位置・個数		位置 車両右側で乗降口から3000mm以内に設置 個数 2脚分	前後寸法：1,300mm/1,100mm以上 (1)車いす席は前向き2脚、車両右側とすること (2)車いす固定部には折りたたみ座席を設ける (3)(1)以外は局の承認を得ること ※床固定フックについてはカバーに隠れない位置に取付けること *上記各項目で不可能なものがある場合は、局と調整、承認を得ること 図⑤参照
872 固定ベルト(車いす用)		メーカー標準 前向の場合3点(前1・後2) 巻取り式自動ロックベルト固定 人ベルト装備	(1)巻取り式車いす固定用ベルトを収容台数2式分 ※後方1脚分は壁に固定、前方固定ベルトは標準位置に固定(前側用：黄色、後側用：青色テープを貼付) ※後方1脚分の車両設置型巻取り式自動ロックベルトを壁に固定すること ※壁固定部分については、立客の足に接しないようカバーの、取付を行うこと ※カバーについては縁部分等ケガ防止対策を行うこと ※固定具カバー本体に車椅子固定用具のカバーであるステッカーを貼付 ※固定具カバーを外した時の収納箇所は製作要領図のとおりとする *図は参考であり、詳細は製作要領図を基本とするが形状については局と調整、承認を得ること  ※前側一脚分は固定ベルト以外支給 (2)車いす乗客用シートベルトBK026-Dを前方1脚分積込(支給品)(フック両面に調整側：黄色テープ、固定側：緑色テープを貼付) (3)移動円滑化基準、引っ張り試験合格品とすること *上記各項目で不可能なものがある場合は、局と調整、承認を得ること
(ベビーカー用)			2台分を積込み(バス車体規格BK120-Aで色は赤)
873 固定金具		BK028 固定位置は前1、後2箇所	固定金具：BK028前1後2ヶ所(内部にφ2の水抜き穴を設ける) (フック両側に前側：黄色テープ、後側左：赤色テープ、固定側：緑色テープを貼付)
874 収納箱	メーカー標準	(1)収納箱は前輪フェンダー部に取付け。蓋、銘板付、別途「荷物を置かないで下さい」銘板貼付 (2)角部は、保護パッドを貼り、箱上の握りパイプは、保護クッション材巻付けのこと *上記各項目で不可能なものがある場合は、局と調整、承認を得ること	

区分	仕様項目	標準仕様	特記事項・特別仕様
L 塗装			
L100. 防錆処理		メーカー標準	
L200. 塗料		メーカー標準	ウレタン塗装、PG60以上
L300. 外部塗装	310 デザイン	仕様対応	当局の指示によるデザインとする
	320 塗色	バス車体塗色見本から選んだ3色以内	製作要領図による
L400. 車内塗装	410 天井	A400項参照	
	420 窓柱被せ	同上	
	430 腰板		
	431 腰板	A400項参照	
	432 窓下縁材	メーカー標準	
	433 D席右下配電箱	メーカー標準	上面粉体塗装
	440 計器盤		
	441 上部	メーカー標準	反射がないこと
	442 下部	メーカー標準	腰板と同色
	460 エンジンルーム隔壁	メーカー標準	
	490 扉内面		
	491 前扉	メーカー標準	塗装の場合艶なし
	492 中扉	メーカー標準	車内色に合わせる
	L500. 外部特殊部塗装	510 パンパー	メーカー標準
520 保安塗装		なし	
530 バッテリー格納庫内面		メーカー標準(耐酸塗料塗装)	
540 ディスクホイール		メーカー標準(シルバー色)	
550 車外ミラー背面		メーカー標準	白色
560 床下		メーカー標準	
570 エンジン扉内側			当局の指示による
L600. 車内特殊部塗装		610 仕切板	メーカー標準
	620 車内ミラー背面	メーカー標準	車内同色又は白色
	630 シート脚		BSP-3(グレー)
	640 シートバック背面		腰板同色
L700. マーク、文字	710 ユーザーマーク	なし	製作要領図により取付(整理番号025-2(低公害車の場合))
	720 事業者名	なし	製作要領図により取付
	730 車両番号	なし	製作要領図により取付
	780 車いす表示マーク		(1) 前面行先表示器の左に取付(整理番号027-1) (2) 製作要領図により取付(側面)(整理番号027-2) (3) 後面ガラス左下隅へ貼付(スロープ文字入、右上り) (整理番号027-3)
	781 ベビーカーマーク		(1) 前面行先表示器の右に取付(整理番号041-2) (2) 製作要領図により取付(側面)(整理番号041-1)
	790 その他の表示マーク		製作要領図により新規製作取付 燃料タンク上注意喚起銘板(整理番号043) パンフレット案内銘板(整理番号044) リュックサック使用注意銘板(整理番号045)
M 積込品			
M100. 掃除道具	110		
M200. 各種装置キー	210	なし	予備キー含む
M300. 運行及び点検用具	310	点検ハンマー	メーカー標準 収納筒を運転席仕切り扉内側へ取付、点検ハンマー1本を局番号記入(車号のみ)し収納すること 図⑩参照
M400. 保証書	410		メーカー標準 別途指示
M500. 説明書、配線図	510	同上	速やかに提出すること
M600. その他	610 上敷	同上	
	611 車いす固定ベルト	積込、K870項による	
	612 車いす用車輪止め	なし	
	659 車いす用スロープ板	携帯式スロープ板	デクバック製スロープ板 ※固定ベルトは格納箱の外側で仮留めできるようにすること (スロープ板使用時)
	680 その他		
	682 補助スロープ板		なし
	683 脚立		なし
	684 車載せ台		なし
	685 車載工具		なし
	686 パンフレット入れ		1個※K390取付分とは別に積み込むこと

前扉上部及び前面上部、雨水オーバーフロー対策図

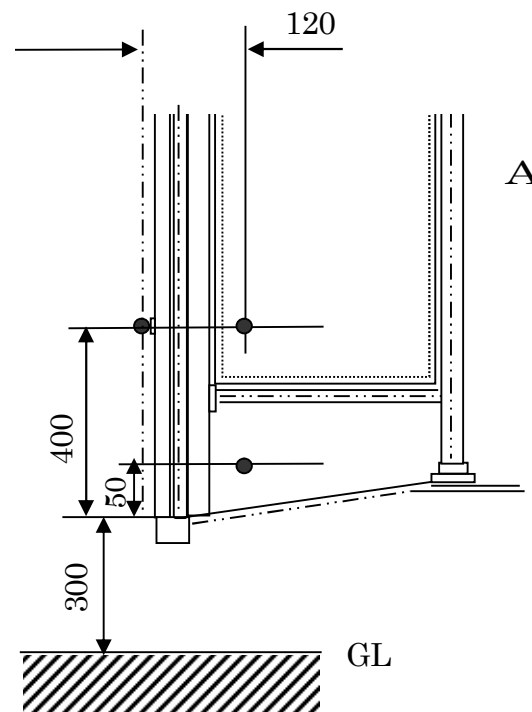
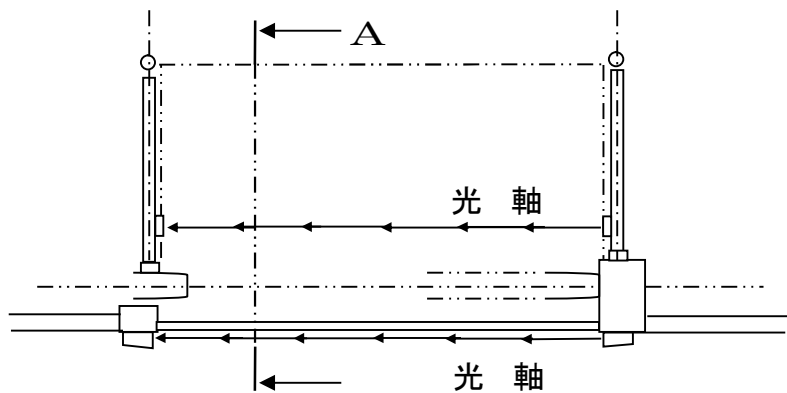
クーラーカバー等が最前方まである場合、
前面上部雨樋は取り付けなくてもよい。



作成日	平成 25 年 4 月	変更日		作成者	川崎市交通局	仕様書	図①
-----	-------------	-----	--	-----	--------	-----	----

間接確認装置配置図

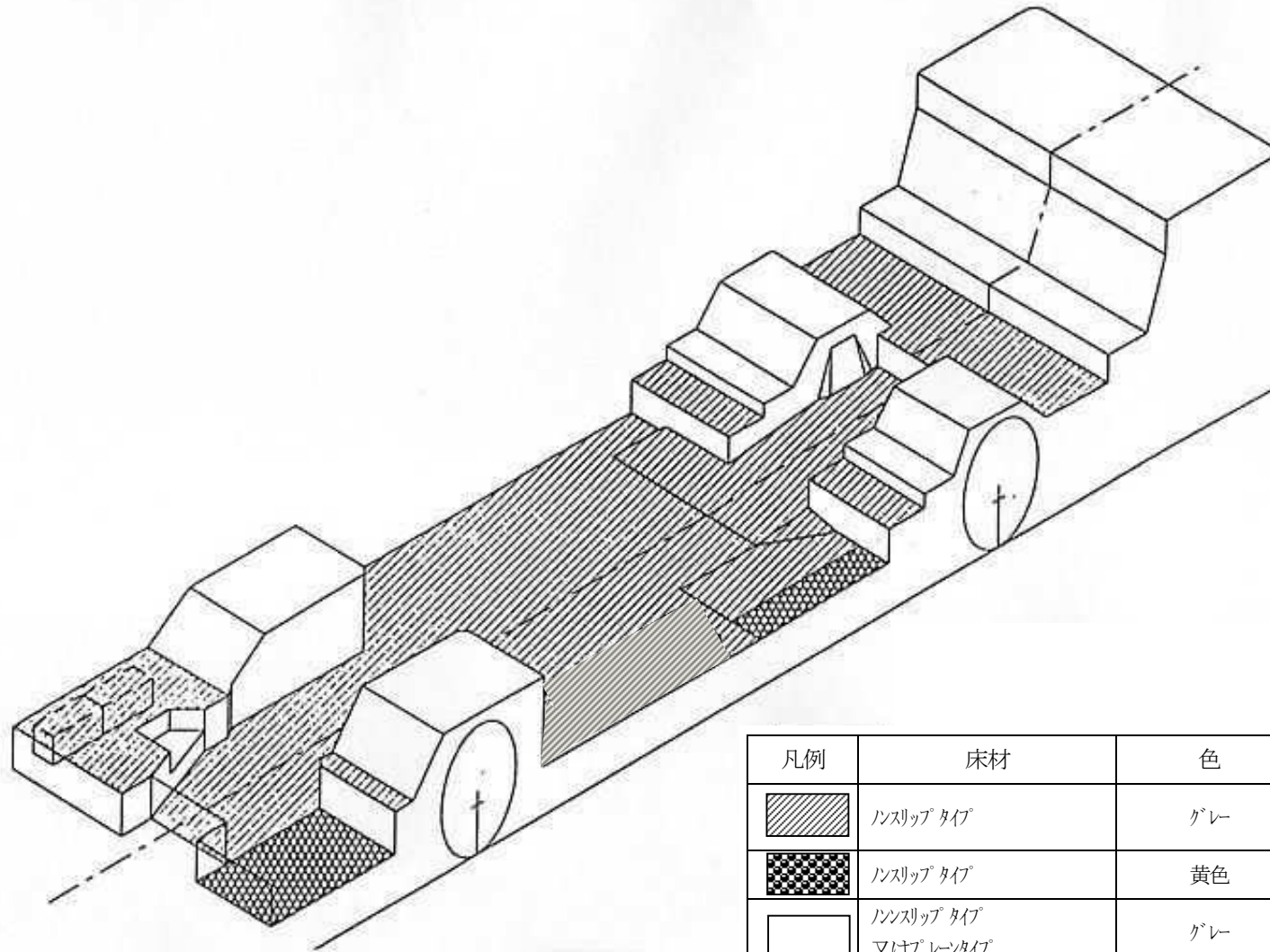
(中降方式)
 車内 2 光束、車外 1 光束、光電管取付





対応不可能な場合は図面等を提出し局の承認を得ること

作成日	平成 25 年 4 月	変更日	令和 5 年 12 月 日	作成者	川崎市交通局	仕様書		図③
-----	-------------	-----	---------------	-----	--------	-----	--	----

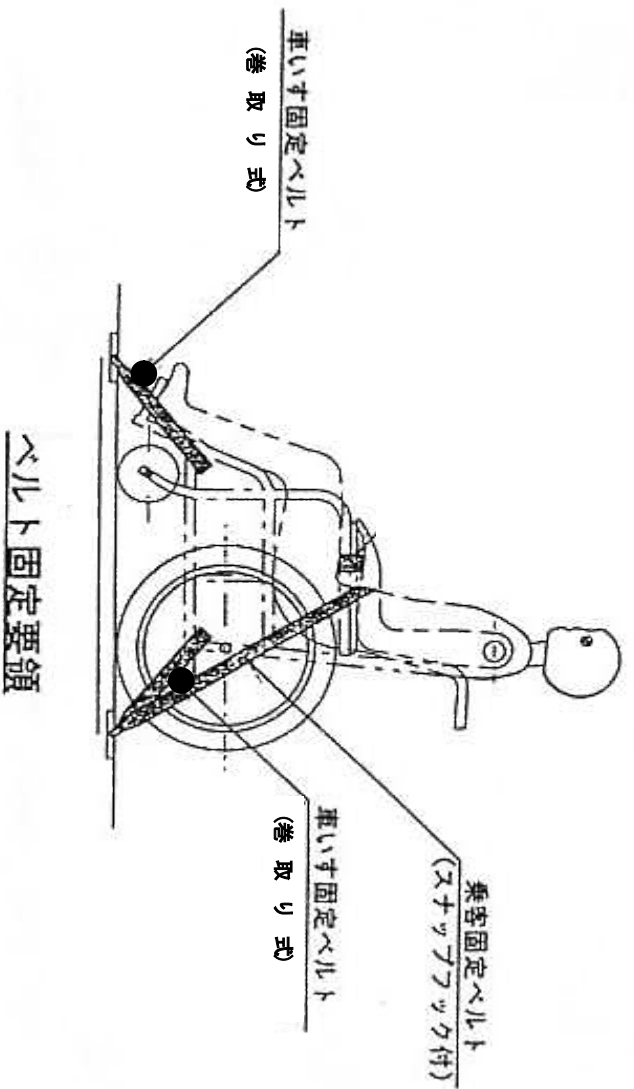
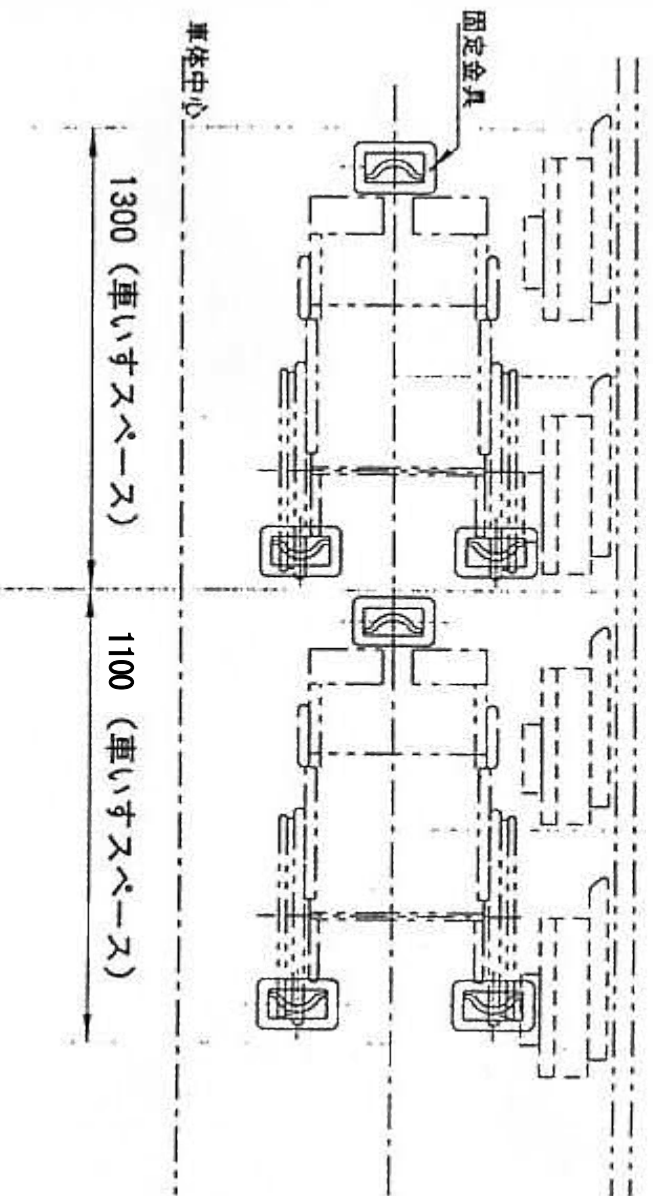
床上張材施工区分図



凡例	床材	色	備考
	ノンスリップタイプ	グレー	一般部、前向優先座席部 タイヤハウス足乗部
	ノンスリップタイプ	黄色	出入口付近
	ノンスリップタイプ 又はプレーンタイプ	グレー	タイヤハウス部（足乗部除く） 後部座席立上部

作成日	平成 25 年 4 月	変更日	令和 5 年 12 月	作成者	川崎市交通局	仕様書		図④
-----	-------------	-----	-------------	-----	--------	-----	--	----

車いす固定方法



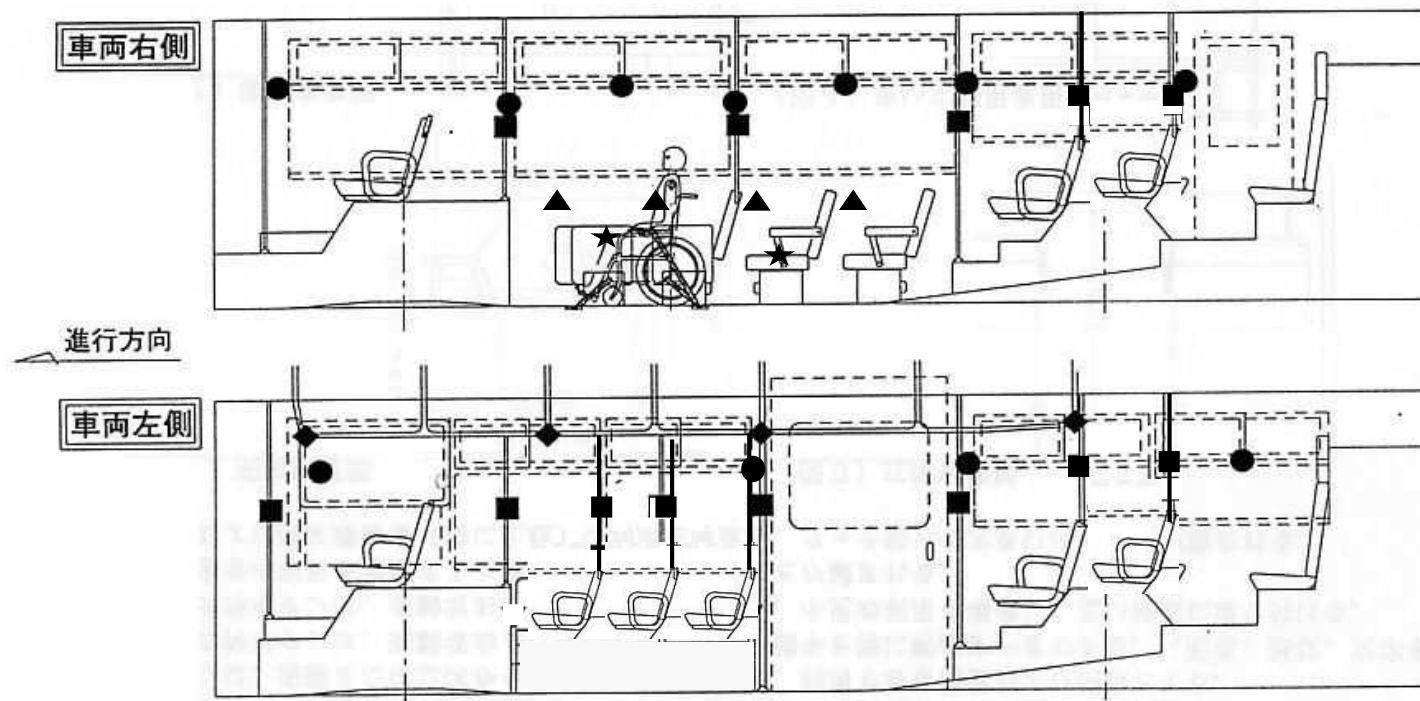
作成日	平成 25 年 4 月	変更日	平成 26 年 6 月	作成者	川崎市交通局	仕様書		図⑤
-----	-------------	-----	-------------	-----	--------	-----	--	----

降車合図ボタン配置の基本的な考え方

- 1 メーカー標準配置優先
- 2 基本的に当局配置図の中で、メーカー標準にないものは追加して取付けるものとする。ただし近距離に重複する可能性があるため、配置図を提出し局の承認を得ること。
- 3 降車合図ボタンは、その取付位置により、(株)オージ製 WS-280、281、282 を使分けること。
- 4 降車合図ボタンの使分けは、請負者のボタン配置図提出後別途指示するものとする。

ノンステップバス用降車合図ボタン配置図（参考）

記号	凡 例	特記事項
●	窓枠及び窓柱部	側方向幕裏蓋部含む
■	立席握棒部	中扉部は45° 外側に向けること
◆	天井握棒部	千鳥式
▲	跳ね上げ座席腰板部	
★	車いす利用者用	跳ね上げシート座面裏側



作成日

平成 25 年 4 月

変更日

令和 5 年 12 月 日

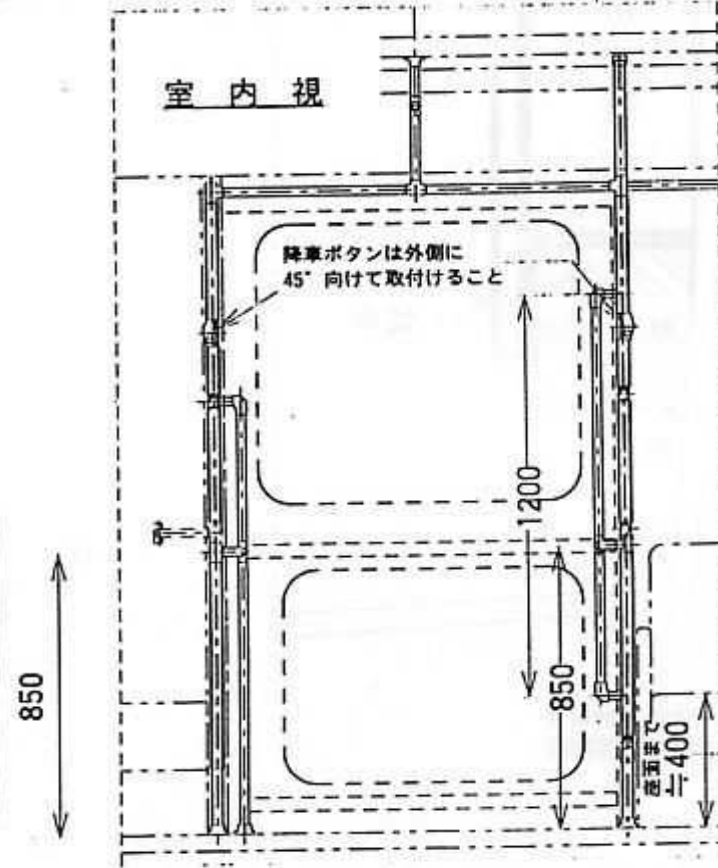
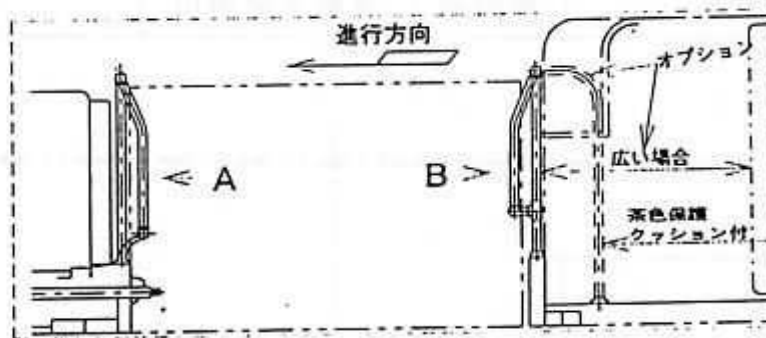
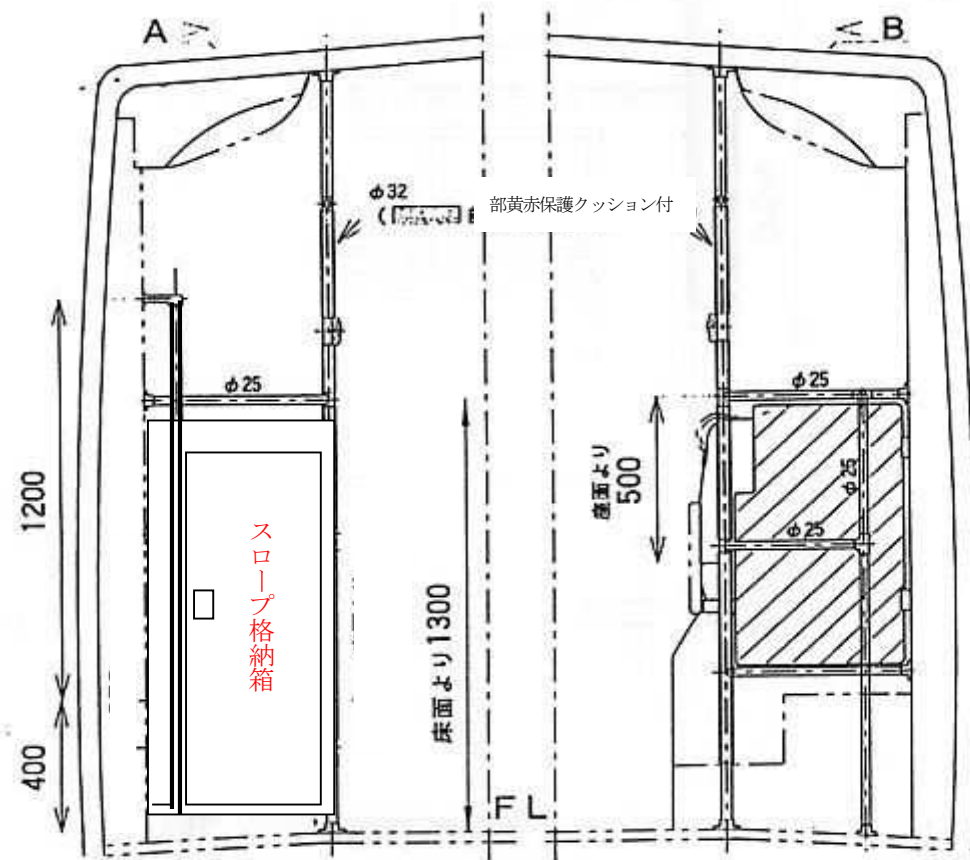
作成者

川崎市交通局

仕様書

図⑧

中扉仕切構造(引戸、ノステップバス)

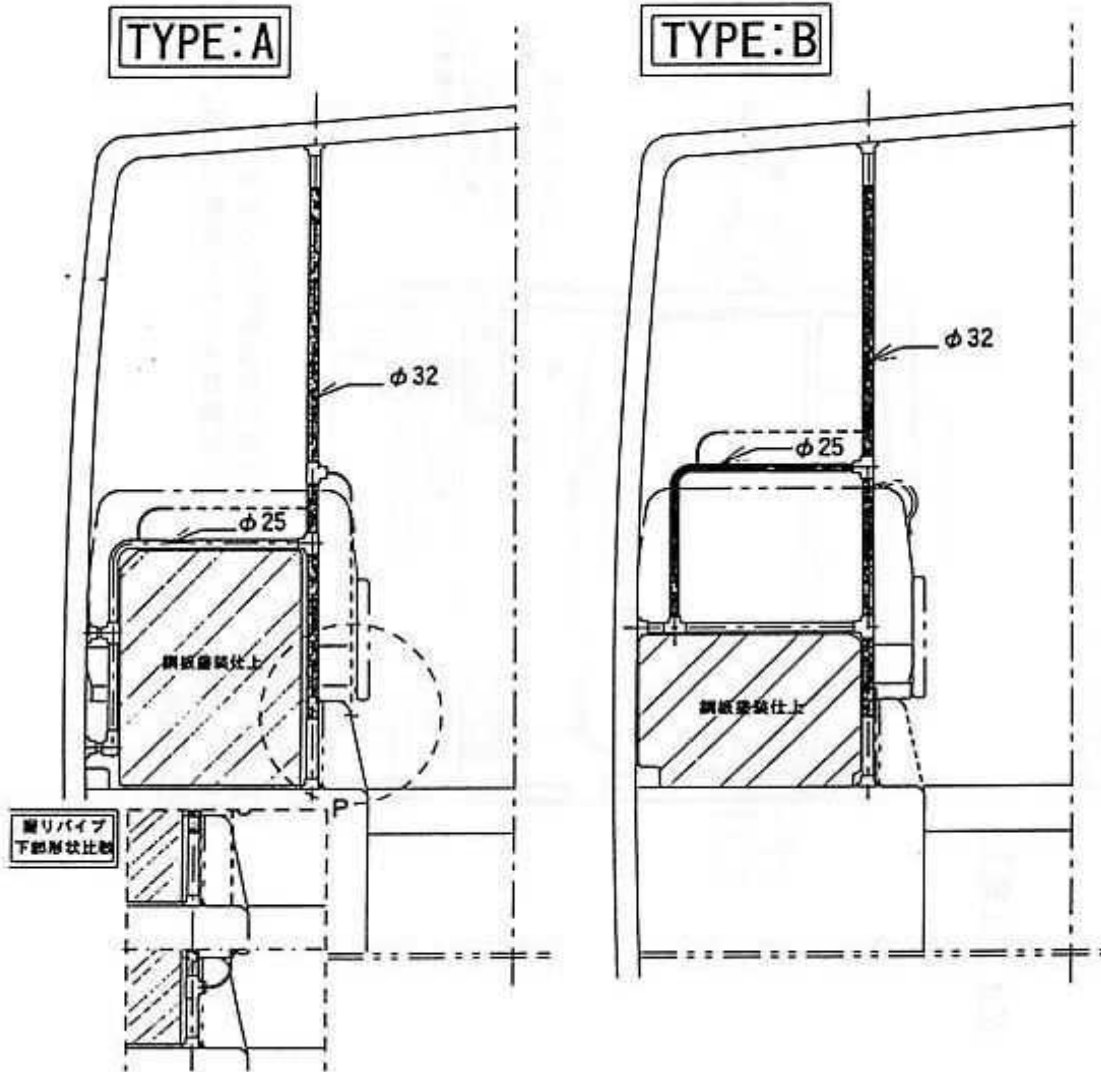


作成日	平成 25 年 4 月	変更日	令和 5 年 12 月	作成者	川崎市交通局	仕様書	図⑩
-----	-------------	-----	-------------	-----	--------	-----	----

右シート前仕切構造

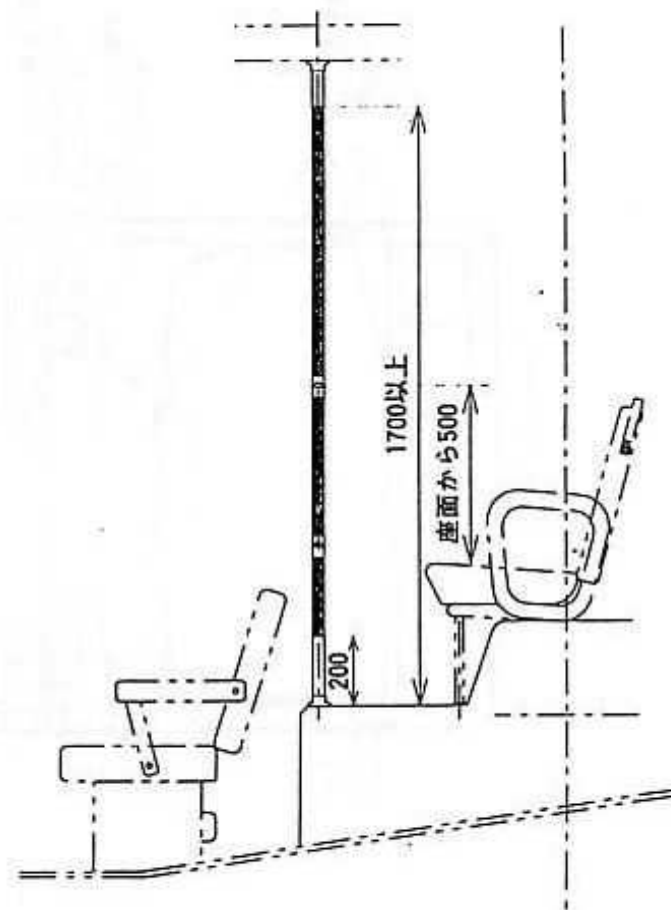
TYPE:A

TYPE:B



特記事項

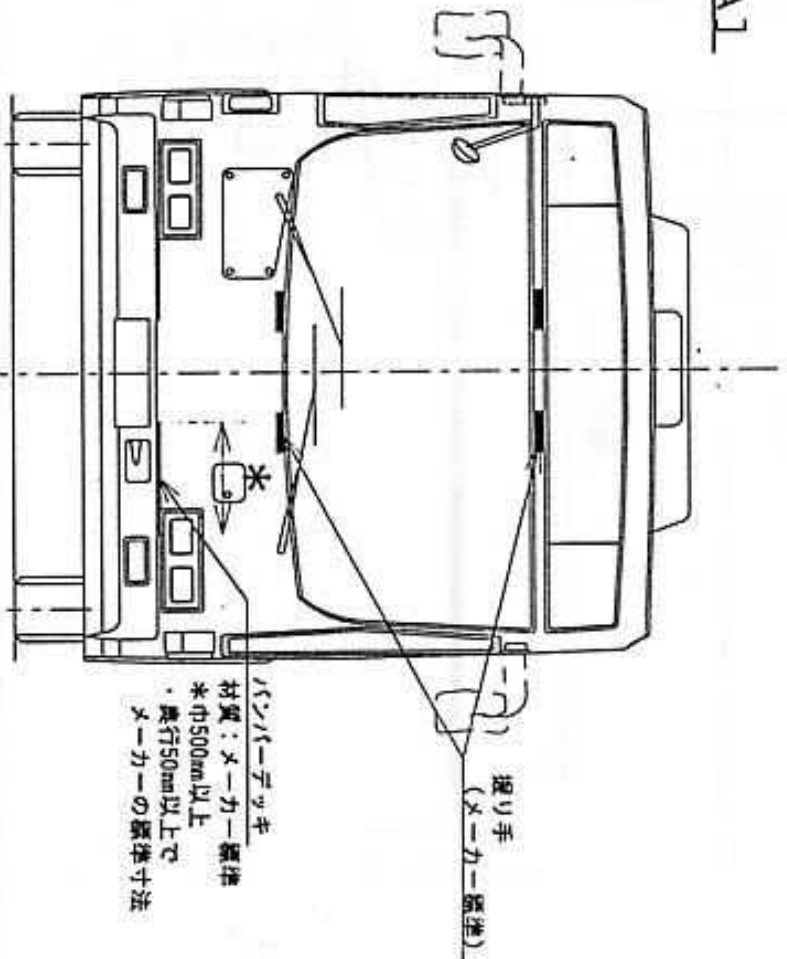
- ・ ■■■■ 部に保護クッション取付
- ・ - - - - 部：オプション設定



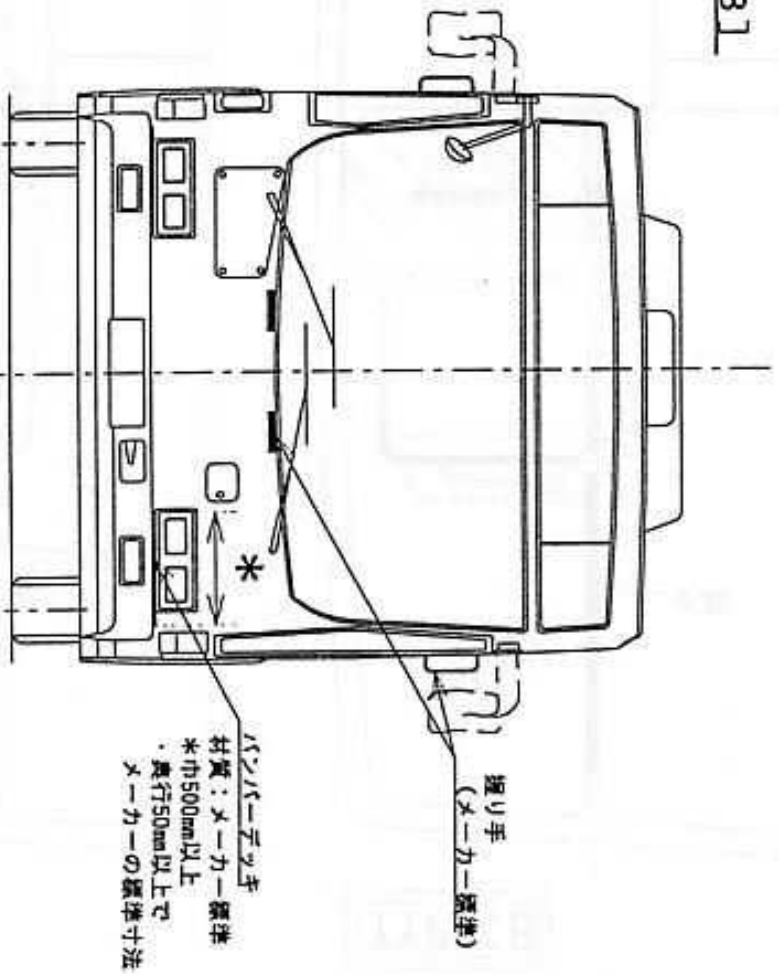
作成日	平成 25 年 4 月	変更日		作成者	川崎市交通局	仕様書		図①
-----	-------------	-----	--	-----	--------	-----	--	----

清掃用握り手およびバンパーデッキ

タイプ[A]



タイプ[B]



- ・ 下記のタイプ[A]または[B]のいずれかとする
- ・ 握り手およびバンパーデッキ位置はメーカー標準とする。
- ・ 本図は概略の位置を示す。

作成日

平成 25 年 4 月

変更日

作成者

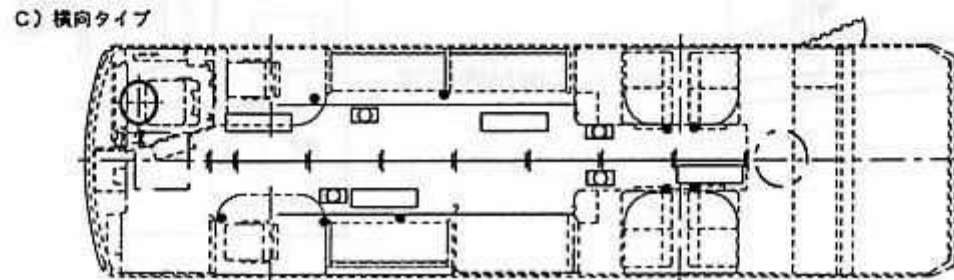
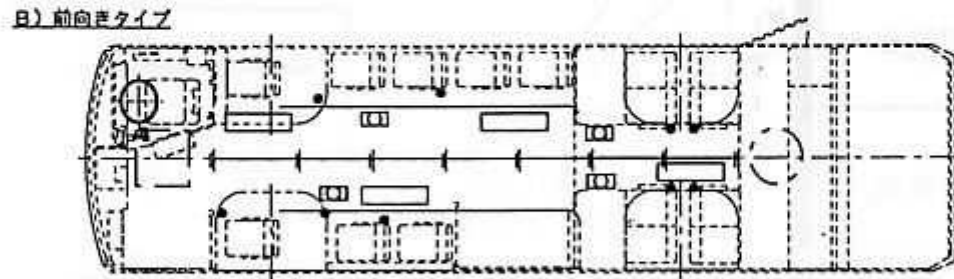
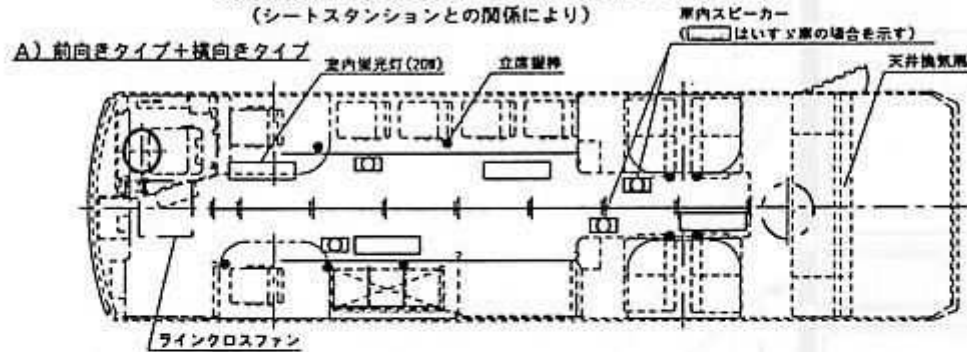
川崎市交通局

仕様書

図⑫

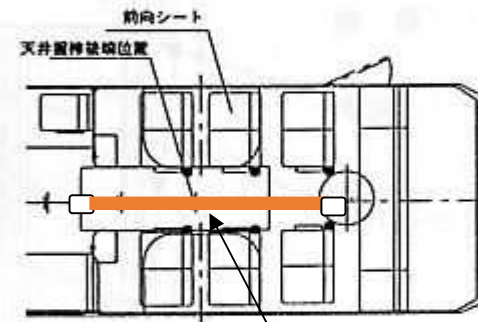
天井配置図 [考え方]

- 1) 天井握棒は、立席スペースを全てカバーできるように配置。
- 2) ホールベース間は、3本式天井握棒中扉後はシートスタンスの配置を基本とする。
(ホールベース間シートレイアウト：前向き、横向き：共通)
- 3) シートスタンス位置はシートレイアウトにより移動。
- 4) 中央の天井握棒は最後部座席前のシート形状によって、後端位置が変わる。
- 5) 室内灯は千鳥配置を基本とするが、最後部のみ中央とする。
(シートスタンスとの関係により)



※注意点

最後部前席が前向きの場合、床形状に合わせて、天井握部の後端位置を1スパン前側へ移動すること。



天井握り棒1本追加

作成日

平成 25 年 4 月

変更日

令和 6 年 5 月

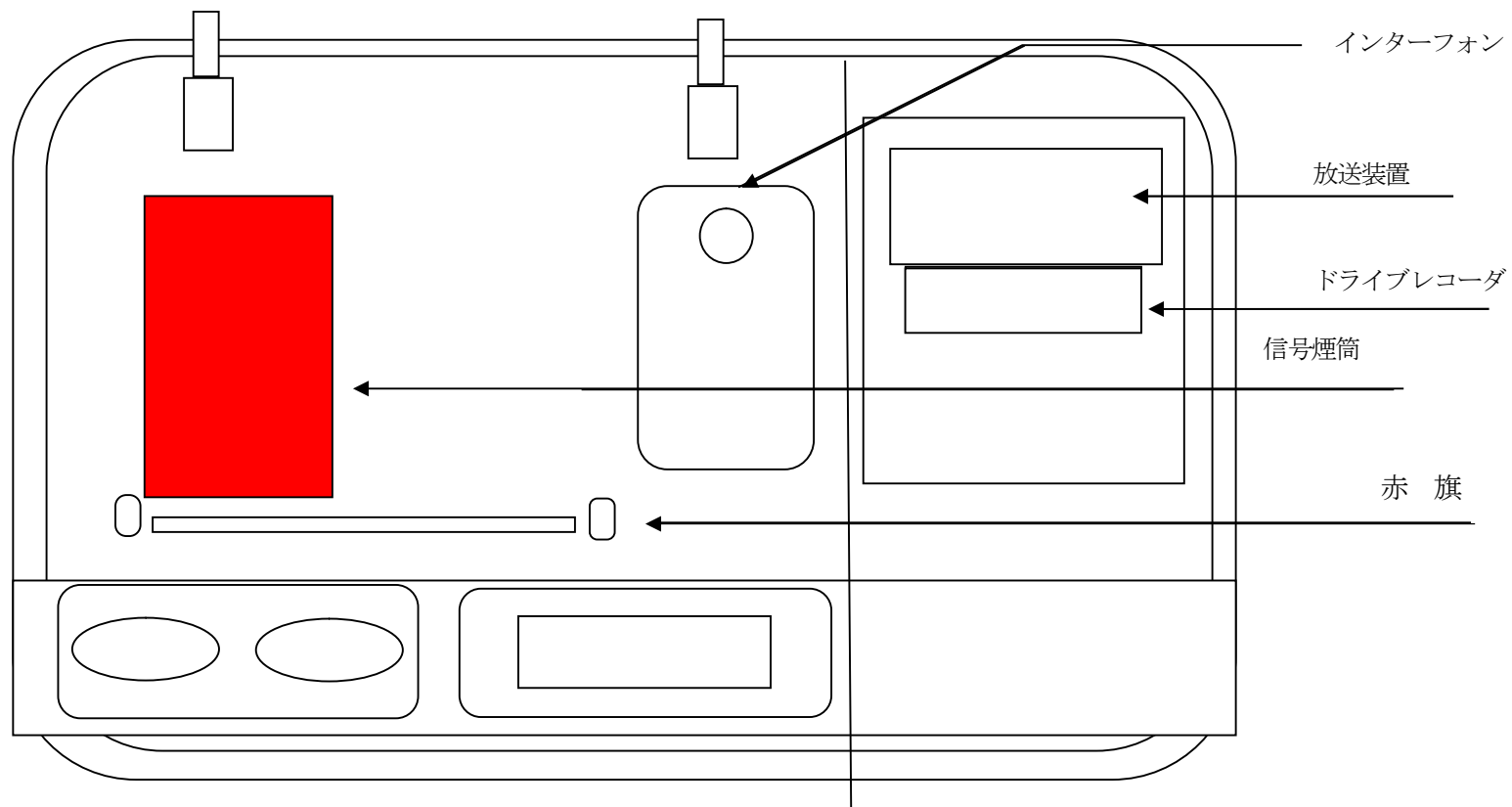
製作者

川崎市交通局

仕様書

図⑭

運転席右上部 装備品配置図



作成日

平成 25 年 4 月

変更

令和 5 年 6 月

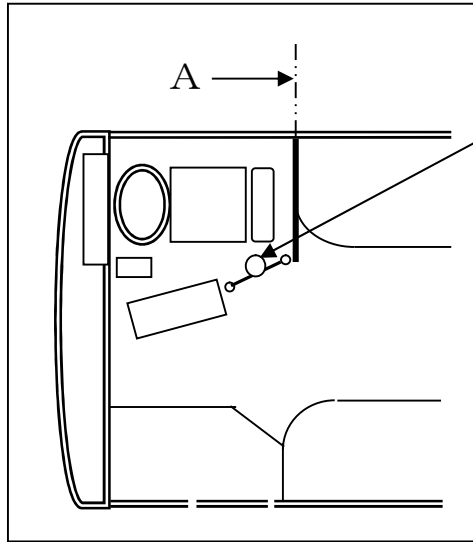
製作者

川崎市交通局

仕様書

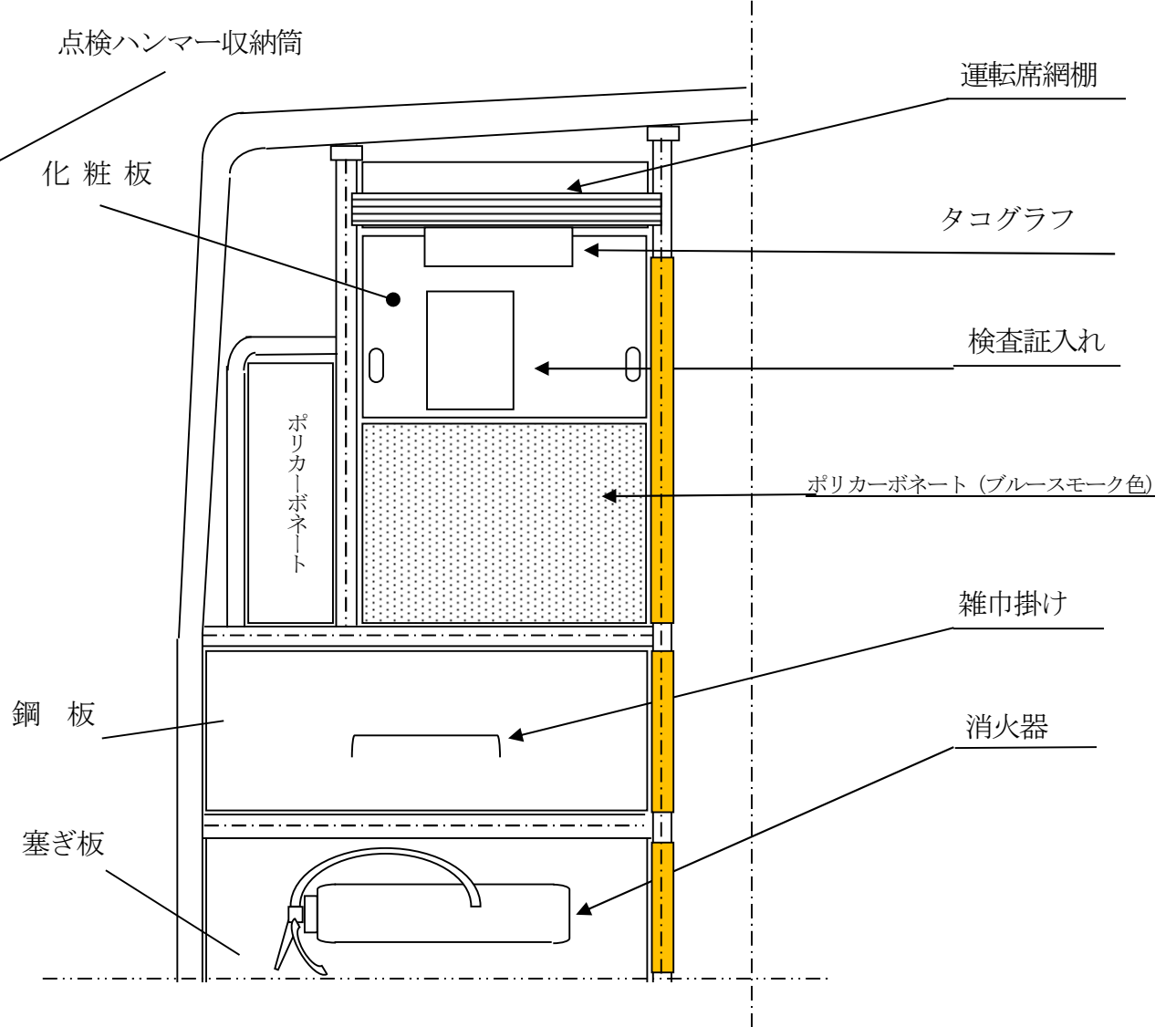
図 ⑮

運転席仕切部 装備品配置図



化粧板取付け時には、ブラケットとパイプの取付け部には、エプトシーラー等を貼付、軋みの無いように。

運転者異常時対応システム装着車は、信号炎筒・検査証入れ・赤旗の取付け位置は、別途協議する。



作成日	平成 25 年 4 月	変更日	令和 5 年 6 月	製作者	川崎市交通局	仕様書	図 ①⑥
-----	-------------	-----	------------	-----	--------	-----	------